
令和3年度事業報告書

目 次

I 総括・重点事業報告

1	総括			4 頁
2	重点的な取り組み			4 頁
3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策			6 頁

II 法人運営・計画・団体事務局等

1	役員会議等	自 主	総 務 課	7 頁
2	第4期柏市地域健康福祉活動計画	自 主	企画調整室	8 頁
3	柏市住民福祉大会	自 主	総 務 課	10 頁
4	啓発活動	自 主	総 務 課	11 頁
5	社会福祉関係行事の後援等	自 主	総 務 課	12 頁
6	柏市民生委員児童委員協議会事務局	事務移管	総 務 課	14 頁
7	他機関との連携・支援 [委員・講師等]	自 主	各 課	15 頁

III 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自 主	総 務 課	18 頁
2	寄附	自 主	総 務 課	18 頁
3	共同募金 [千葉県共同募金会柏市支会]	事務協力	総 務 課	19 頁
4	共同募金・歳末たすけあい配分事業	自 主	総 務 課	20 頁
5	自動販売機設置経営事業	自 主	総 務 課	22 頁

IV 地域支援・ボランティア

1	地域活動拠点事業	自主・市補助	地域福祉課	23 頁
2	地区社会福祉協議会の支援	自主・市補助	地域福祉課	29 頁
3	生活支援体制整備事業	市委託・市補助	地域福祉課	30 頁
4	ボランティア活動 [ボランティアセンター]	自主・市補助	地域福祉課	36 頁
5	災害ボランティアセンター	自 主	地域福祉課	38 頁
6	ふれあい型給食サービス	自 主	地域福祉課	39 頁
7	柏市総合福祉センター関係事業	市委託	地域福祉課	39 頁
8	地域子育て支援拠点事業	市委託	相談支援課	41 頁
9	利用者支援事業	市委託	相談支援課	42 頁
10	こどもの居場所活動団体の支援	自 主	地域福祉課	43 頁
11	地域活動館の運営	自 主	企画調整室	44 頁

V 福祉教育

1	福祉教育パッケージ指定地域の支援	県社協助成	地域福祉課	45 頁
2	体験学習支援	自 主	地域福祉課	45 頁

3	「福祉の心」作品展	自 主	地域福祉課	47 頁
4	実習生の受入	自 主	企画調整室	47 頁

VI 在宅福祉サービス

1	さわやかサービス	自主・市補助	総務課	48 頁
2	移動サービス	自主・市補助	総務課	49 頁
3	かしわファミリー・サポート・センター事業	市委託	相談支援課	50 頁
4	車いすの貸出	自 主	相談支援課	51 頁

VII 介護予防

1	介護予防センターにおける介護予防事業	市委託	地域福祉課	52 頁
2	老人福祉センターの介護予防事業等	指定管理	総務課	57 頁
3	沼南地域包括支援センターの介護予防事業	市委託	相談支援課	57 頁

VIII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自 主	相談支援課	58 頁
2	福祉資金貸付事業	自 主	相談支援課	59 頁
3	生活福祉資金貸付事業	県社協委託	相談支援課	60 頁
4	交通遺児援護金等支給	自主・事務協力	相談支援課	61 頁
5	緊急援護金支給事業	自 主	相談支援課	62 頁
6	若者自立支援活動団体の支援	自 主	相談支援課	63 頁
7	自殺予防対策事業 [かしわお元気コール事業]	自主・市補助	地域福祉課	63 頁
8	障害者の就労支援	自 主	総務課	65 頁

IX 権利擁護・地域包括支援センター

1	成年後見利用促進（中核機関）事業	市委託	相談支援課	66 頁
2	成年後見事業	自主・市補助	相談支援課	68 頁
3	柏市市民後見人推進事業	市委託	相談支援課	71 頁
4	福祉サービス利用援助事業	県社協委託・市補助	相談支援課	72 頁
5	沼南地域包括支援センター	市委託	相談支援課	74 頁

X 施設管理

1	沼南社会福祉センター設置経営事業	自主・市補助	総務課	79 頁
2	介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業	市委託	総務課	79 頁
3	老人福祉センター管理運営事業	指定管理	総務課	80 頁

[参考] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1	役員（理事・監事）名簿	82 頁
2	評議員名簿	83 頁
3	組織図	84 頁

第4期 柏市地域健康福祉活動計画
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

1	地域・団体支援、ネットワークづくり	86 頁
2	新たなしくみや活動づくり	91 頁
3	人材の育成や活用、支援	96 頁
4	生活課題解決への取り組み	102 頁
5	情報発信・普及啓発	106 頁

II 社協発展・強化計画

1	拠点戦略	109 頁
2	人事戦略	111 頁
3	運営戦略	113 頁
4	財政戦略	115 頁

I 総括・重点事業報告

1 総括

令和3年度は前年度にも増して新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関のひっ迫や学校・保育園等の休校・休園が広がり、市民の日常生活とともに地域福祉活動にも大きな制約をもたらしました。

こうした中でも、ワクチン接種が開始され人数の制限や感染予防策を取りながら、事業計画に基づく各種事業の推進に努め、柏市総合福祉センター（ラコルタ柏）での全世代型の交流事業や成年後見制度における中核機関の受託など新たな事業も実施してきました。また、市内8か所目となる新富地域いきいきセンターの開設をはじめ、オンラインを活用した会議や講座の開催など地域福祉活動の強化・充実を図ってきました。

このほか、社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」についての法人間の検討協議を継続するとともに、近年の自然災害の増加に備えた災害ボランティアセンター開設時の経費に関して柏市との協議を進めました。

特に、令和3年度は第4期柏市地域健康福祉活動計画（平成31年度から令和6年度、以下「計画」）の中間年に当たることから、前半期の評価とともに新たな社会経済状況の変化に対応した「計画」の見直しを実施しました。

「計画」では、柏市が令和4年度から開始する「重層的支援体制整備事業」における相談支援・地域づくり・参加支援については、地域いきいきセンターでの実践を活かしつつ、多機関連携による支援についても、それらの実践経験を踏まえたエリアコーディネーターの役割が期待されています。

令和4年度においても、新型コロナウイルスの感染流行が見込まれるところですが、これまでの実績や経験を活かして、法人運営の充実と効果的な事業展開を図ってまいります。

2 重点的な取り組み

(1) 新たな取り組み

① 成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の受託

令和3年6月に開設し、基本計画に基づく4つの機能（広報・啓発、相談、成年後見制度利用促進、後見人支援）の業務を行い、成年後見制度の利用促進、一次相談機関との連携等による権利擁護の支援ネットワークの構築を図り候補者調整会議、一般・福祉・司法職向け研修等を行いました。

[66頁／中核機関]

② 柏市総合福祉センター関係事業の受託

柏市教育福祉会館のリニューアルに伴い、柏市からの新規受託事業として、2階の多世代交流スペース等を活用した全世代型の交流事業等のイベントを企画・実施しました。

[39 頁／柏市総合福祉センター関係事業]

(2) 充実・強化

① 理事会・評議員会の機能及び関係性の強化

6月の理事及び評議員の改選を機に、より深い議論を深める会議体を目指して定数及び選出区分の見直しを行いました。また、役員・評議員のための社協の現場を知る見学会を企画し、職員や業務に対する理解を深めました。

[10 頁／役員会議等]

② 地域いきいきセンターの設置

8か所目となる新富地域いきいきセンターを開設し、相談支援体制や地域づくり等の取り組みを拡充するとともに、9か所目の整備に向けて、市担当課や地域との調整を進めました。

[28 頁／地域活動拠点事業]

③ 包括的な相談支援体制の構築に向けた連携と機能強化

柏市における重層的支援体制整備事業の具体化に向けて、行政や関係機関等と定期的な検討を進めてきました。特に地域いきいきセンターでは伴走支援の事例を積み重ね、事業における役割を整理しました。令和4年度の事業開始に向けて、さらに行政や関係機関等との連携・協働を強化していきます。

[28 頁／地域活動拠点事業]

④ 災害時の組織体制強化と関係団体との連携体制の構築

災害ボランティアセンターの運営費の一部が災害救助法の国庫負担の対象になったことを受け、災害発生時に即応できるよう行政と内容の調整を重ねました。今後は災害時における行政と本会の役割を明確にしたうえで、相互支援の協定の締結に向けてさらに協議を進めていきます。

[38 頁／災害ボランティアセンター]

⑤ 市内社会福祉法人のネットワークの構築

社会福祉法の改正により、社会福祉法人の責務とされた「地域公益活動」の推進に向けたネットワーク組織の設立に向け、市内8法人による検討会及び設立準備会を2か月ごとに開催し、先進地の勉強会や組織、活動等のあり方等について検討を行ってきました。12月に実施した市内全法人に向けたアンケート結果を踏まえ、令和4年度は多くの法人の参画による組織設立を目指していきます。

[10 頁／第4期柏市地域健康福祉活動計画]

⑥ 市民後見人養成研修の見直しと充実

養成研修の期間やプログラム内容を見直すなど、市民が受講しやすい内容に変更しました。今年度は定員12名を超える申込みがあり、11名が研修を終了しました。

[71 頁／柏市市民後見人推進事業]

⑦ ICTを活用した事業展開と地域のつながりづくり

コロナ禍でも“つながりを絶やさない”取り組みとして、動画の配信等を積極的に実施し、地域活動者や団体の活動支援に取り組みました。

また、会議や講座等では、会場参加とオンライン参加を複合し、ハイブリッドによる運営を実施しました。

[31 頁／生活支援体制整備事業]

[54 頁／介護予防事業]

(3) 調査・研究

① 第4期柏市地域健康福祉活動計画の中間評価と見直し

社会福祉法の改正や新型コロナウイルス感染症の流行等による社会環境の大きな変化に対応するため、行政計画の方向性を踏まえて中間期の見直しを行いました。特に地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備事業における本会の役割を明確化、それに伴う社協アクションプラン等の一部見直しを行った「中間期見直し追加版」を3月に発行しました。

[8 頁／第4期柏市地域健康福祉活動計画]

② 地域活動に係る人材の横断的な確保と育成

地域活動に興味を持つ市民に対し、特定の事業や活動だけでなく地域に係る様々な活動の情報を一度に提供する「地域活動ガイダンス」を10月に試行実施しました。実際に地域活動につながった方も数名おり、令和4年度は年4回の開催を企画しています。

[12 頁／啓発活動]

③ ぞうさんルームの拡充と協力会員の獲得強化（ファミリー・サポート・センター）

利用者からのニーズを踏まえ、預かり時間の延長（6時間）及び曜日の拡充による子育て環境の充実（リフレッシュ等）を図りました。協力会員の新規獲得に向けた研修会を、協力会員が少ない地域で重点的に実施しました。

[50 頁／かしわファミリー・サポート・センター事業]

④ 物品寄附の有効活用に向けたしくみづくり

寄附者の想いを受け止め、物品を有効に活用するしくみを構築するため、企業等による寄附物品の配分、調整を行いました。また、再度の寄附につながるよう、寄附の使い途を分かりやすく説明した報告書を作成し、寄附者に送付しました。

[19 頁／寄附]

3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス対応に関する本会の基本方針を状況に応じて随時更新し、全職員に周知しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面会議やオンライン会議を実施するとともに、コロナ禍においても事業を継続できるような方策を検討し、実施しました。

Ⅱ 法人運営・計画・団体事務局等

1 役員会議等

自 主

総 務 課

(1) 正副会長会議の開催状況

期 日	主な内容
R3. 5. 20	[第1回] 令和2年度事業報告・計算書類等の承認、諸規程の一部改正、令和3年度補正予算、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集、定時評議員会の招集、役員候補者の推薦、会長、副会長及び常務理事の選定等
R4. 1. 11	[第2回] 諸規程の一部改正、令和3年度1月期補正予算の承認、令和3年度第2回評議員会の招集等
3. 8	[第3回] 令和4年度事業計画・予算、第4期柏市地域健康福祉活動計画の中間見直し、諸規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、第3回評議員会の招集等

(2) 理事会の開催状況

期 日	主な内容
R3. 6. 3	[第1回] 令和2年度事業報告・計算書類等の承認、諸規程の一部改正、令和3年度補正予算、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集及び選任、定時評議員会の招集、役員候補者の推薦等
6. 24	[第2回] 会長、副会長及び常務理事の選定等
R4. 1. 20	[第3回] 諸規程の一部改正、令和3年度1月期補正予算の承認、令和3年度第2回評議員会の招集等
3. 17	[第4回] 令和4年度事業計画・予算、第4期柏市地域健康福祉活動計画の中間見直し、諸規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、第3回評議員会の招集等

(3) 評議員会の開催状況

期 日	主な内容
R3. 6. 24	[定 時] 令和2年度事業報告・決算、諸規程の一部改正、令和3年度補正予算、理事・監事の選任等
R4. 1. 28	[第2回] 諸規程の一部改正、令和3年度補正予算等
3. 25	[第3回] 令和4年度事業計画・予算、第4期柏市地域健康福祉活動計画の中間見直し等

(4) 監査の実施状況

期 日	主な内容
R3. 5. 10	[顧問会計士監査] 令和2年度会計監査（～R3. 5. 12）
5. 25	[監 事 監 査] 令和2年度事業報告・決算、財産目録及び貸借対照表等の財務諸表・附属明細書等
11. 10	[顧問会計士監査] 令和3年度上半期会計監査（～R3. 11. 12）

(5) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日	主な内容
R3. 6. 9	[残任期間] 評議員2名の解任及び選任 [次 期] 評議員21名の選任

(6) 部会（理事）の開催状況

期 日	主な内容
R3. 8. 25 [企画・ 財政部会]	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
8. 26 [地域・ 生活部会]	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
11. 24 [企画・ 財政部会]	第4期柏市地域健康福祉活動計画中間見直し、ラコルタ柏における多世代交流事業、柏市中核機関運営業務の受託開始、ほのぼのプラザますお機能変更に伴う受託終了等
11. 25 [地域・ 生活部会]	第4期柏市地域健康福祉活動計画中間見直し、ラコルタ柏における多世代交流事業、柏市中核機関運営業務の受託開始、ほのぼのプラザますお機能変更に伴う受託終了等

(7) 福祉サービス調整委員会議

期 日	主な内容
R4. 3. 15	苦情等の報告、その他

2 第4期柏市地域健康福祉活動計画

自 主

企画調整室

(1) 計画全体

これまでの成果や課題を踏まえ3年目の実施計画を策定し、年2回のヒアリングと隔月のグループリーダー会議において進捗管理を行い、目標達成に向けて組織全体で推進を図りました。

また、計画3年目は6か年計画の中間年度となることから、計画の前半期における社会環境等の大きな変化に



中間期見直し追加版

対応するため、行政計画の方向性を踏まえた中間期の見直しを実施しました。

中間期の見直しにあたっては、理事及び評議員、柏市地域支えあい推進協議会委員からの意見等に基づき、「中間期見直し追加版」を発行しました。

期 日	柏市地域支えあい推進協議会のテーマ
[第1回] 書面会議	・“私たちの”支えあいプラン中間見直しについて ・元気高齢者づくりの具体的な取り組み方針（案）について
[第2回] 書面会議	・“私たちの”支えあいプラン中間見直しについて ・令和4年度生活支援体制整備事業の進め方について

(2) 地区別計画

コロナ禍においても、各地区社会福祉協議会を中心に、参加人数やテーマを工夫しながら、目標の達成に向けた懇談会及び実践が展開されました。

また、地区別計画において基本方針の確認・見直しを行いました。

(3) 社協アクションプラン・発展強化計画

① 進捗管理

会議名	期 日	主な内容
主管者会議	毎月第2火曜日	重要案件等の協議、組織方針の意思決定
局長課長会議	毎月第1火曜日	事業の進捗確認、課題等の調整、協議
課内会議等	各課・担当毎	主管者会議、局長課長会議の伝達、業務進捗管理や調整
グループリーダー会議	隔 月 開 催	計画進捗確認、計画推進課題等の協議
ヒアリング	年 2 回 開 催	(5月)実施計画、(10月)中間期進捗確認

② アクションプラン

[介護予防事業の効果的な実施（介護予防センター以外での事業の実施）]

- ▶ コロナ禍でも“つながりを絶やさない”取り組みとして紙面講座や動画の配信等を積極的に実施し、地域の居場所運営団体や民生委員等の活動支援を行いました。

[新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施]

- ▶ 利用者からのニーズに応えるため、6月から預かり時間の拡大（6時間）を実施しました。令和4年度は、受け入れ態勢の見直しを図る中で（1日6時間の利用数最大2人）、さらに日数の拡大（第4火曜日）を図っていく予定です。

[移動困難者への支援]

- ▶ 北部と南部の利用者にとって均等なサービスを提供できるよう、利用時間等の見直しを図りました。また、ワクチン接種のための利用者に対しては、時間外の対応を実施し、利用しやすいサービス提供に努めました。

③ 発展・強化

[新たな地域いきいきセンターの設置]

- ▶ 4月に新富地域いきいきセンターを新規開設しました。令和4年度の9か

所目の開設に向けて、6月に市担当課と検討会議を開催し、増尾地域への開設を計画しました。また、令和5年度以降の候補地を含めた設置計画について、2月に検討会議を開催し候補地の共有を行いました。

[社会福祉法人等との連携強化]

- ▶ 社会福祉法人の地域公益活動推進に向けたネットワーク組織の設立に向け、市内8法人による検討会及び設立準備会を2か月ごとに開催し、先進地の勉強会や組織、活動等のあり方等について検討を行ってきました。12月に実施した市内全法人に向けたアンケート結果を踏まえ、令和4年度は多くの法人の参画による組織設立を目指していきます。

期 日	主な内容
R3. 5. 24	重層的支援体制整備事業の共有、ホームページの検討、組織・会則等の草案検討、意見交換
7. 26 ※設立準備会へ移行	組織・会則等の草案検討（各法人の意見共有）、アンケートの必要性、先進地（大田区）の勉強会、意見交換
9. 27	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
11. 29	社会福祉連携推進法人制度の共有、アンケートの検討、寄附物品の共有、意見交換
R4. 1. 24	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
3. 28	アンケート結果の共有と今後の方向性、令和4年度の進め方、意見交換

また、例年開催している市内社会福祉法人懇親会については、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とし、市内の全法人に対してネットワークの構築に向けた検討会の報告書を送付しました。

[役員・評議員の機能強化]

- ▶ 前年度に実施した役員及び評議員に対する調査や理事会等の意見を踏まえ、6月の改選時に選出区分と定数等の見直しを実施しました。また、役員等と職員の顔の見える関係の構築や社協の事業をより深く理解していただけるよう、「現場を知る見学会」を企画・実施しました。



こらくだくん乗車体験



ラコルタ柏事業見学

3

柏市住民福祉大会

自 主

総 務 課

期 日	主な内容
R3. 11. 2	表彰者選考会議
12. 10	第48回柏市住民福祉大会／アミュゼ柏クリスタルホールで開催を

(中止)	<p>予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により式典は中止とし、情報紙「紙ひこうき」にて顕彰者の紹介をいたしました。</p> <p>社会福祉功労者の顕彰（個人・団体）</p> <p>柏社協会長表彰状 149名・団体</p> <p>柏社協会長感謝状 6団体</p> <p>福祉の心作品展入賞者 5名</p>
------	---

4 啓発活動	自 主	総 務 課
---------------	-----	-------

(1) 地域福祉の情報紙「紙ひこうき」

行政連絡物として全戸に回覧し、また会員に対して送付するなど、地域福祉の情報提供及び広報活動に努めました。[8ページ構成、発行部数 約 18,000 部/回]

※新型コロナウイルス感染症に伴う町会等への回覧物中止により、9月号及び1月号は、12,000部に減らして発行しました。



令和4年1月発行号

期 日	主な内容（特集）
R3. 5. 1	[178号] 柏の支えあい～5年間の取り組み～
9. 1	[179号] コロナ禍における地域支援の取り組み
R4. 1. 15	[180号] コロナ禍でも元気に活動しています！

(2) 社協ガイド

組織・事業の理解を広めるため、令和3年度版ガイドを発行しました。



(3) ホームページ

事業の対外的な発信や伝達、利便性の向上を目的に最新情報の公開に努めました。

(4) 地域福祉啓発カレンダー

特別会員の紹介や地域福祉の推進を目的に、柏市社会福祉協議会カレンダーを作製しました。特別会員をはじめ、町会等及び近隣センター等の関係諸機関へ配付し、啓発を行いました。



(5) 地域活動ガイダンス

これから「何か活動に参加したい!」と考えている市民に対して、地域に係る様々な活動の情報を提供し、活動の第一歩をサポートする講座を実施しました。

効率的な人材確保を図るため、事業の枠を超えて社協活動の啓発と理解を広める事業として試行的に実施しました。

期 日	会 場	内 容
R3. 10. 27	ラコルタ柏 多世代交流 スペース	1 ボランティア活動・地域活動の魅力 2 個別の活動紹介（さわやかサービス・ファミリーサポートセンター・ボランティアセンター・生活支援員・お元気コール・身近な地域の活動） 3 個別の相談・マッチング

(6) 老人の日・老人週間／児童福祉月間

「敬老の日」や「こどもの日」に因み、ポスターを老人福祉センター、いきいきプラザ、沼南社会福祉センター、ラコルタ柏に掲示し、啓発を行いました。

5 社会福祉関係行事の後援等

自

主

総務課

▶ 当年度申請受理分 [後援 31 件]

	後援等申請団体	内 容
1	全国大陶器市振興組合	チャリティー全国大陶器市
2	里彩くるカエル倶楽部	柏の葉公園リサイクルフリーマーケット
3	NPO 法人フリーマーケット推進ネットワーク	柏の葉公園フリーマーケット
4	エコロジーネットワーク・ラズベリー	かしわ油田柏の葉公園フリーマーケット
5	柏・麦わらぼうしの会	朗読劇「この子たちを忘れない2021-1945 ヒロシマ・ナガサキ」
6	子育て世代の“うたエール”「アルペジオ」	KASHIWA FAMILY FESTIVAL2021
7	NPO 法人地域活性リサイクル活動ミルクの会	リサイクルフリーマーケット
8	特定非営利活動法人おいじたくあんしんねっと	令和3年度柏市民セミナー「遺言書の作成と生前贈与」
9	NPO 法人地域活性リサイクル活動ミルクの会	柏の葉公園リサイクルフリーマーケット
10	認定NPO法人キャリアデザイン研究所	第15回ニート・ひきこもり家族セミナー
11	福祉ネットワーク水の輪柏市支部	第16回水の輪 夢♡作品展

12	社会福祉法人 よつば	講演会「障害者が地域で暮らすためにどんな環境が必要か」
13	NPO 法人ホスピスケアを広める会	公開講演会「2021年コロナ禍における在宅医療について」
14	柏マジッククラブ	柏マジッククラブ発表会 2021
15	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	講演会「意思決定支援が必要な認知症高齢者等を地域で支える仕組み」
16	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	市民後見人養成講座（基礎編）
17	インプロシアターTILT	公演「柏のみなさん、はじめまして」
18	柏子どもの文化連絡会	第 26 回柏市おはなし会 S' わくわく人形劇まつり
19	柏市立柏高等学校	第 39 回チャリティコンサート
20	CAP なのはな	虐待を受けた子どもの視点から見える現実
21	子育て世代の“うたエール”「アルペジオ」	ぱんぷきんワゴン童謡ファミリーコンサート 2022 「HUMORHUMOR」 かしわ☆ファミフェスワンマン編
22	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	市民後見人養成講座（基礎編）
23	はぐはぐフォーラム実行委員会	はぐはぐフォーラム 2022
24	ケアラー支援ネットワーク協議会	『ヤングケアラー』の心の声は届くか
25	かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと	「孫育て講座」「他孫育て講座」
26	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	講習会「老後の安心講座」
27	柏ユネスコ協会	第 48 回市民かるた大会
28	NPO 法人ケアラーネットみちくさ	生活支援担い手養成講座
29	DEI 実行委員会	パッケンと考える「幸せの価値観」
30	柏子どもの文化連絡会	第 23 回増尾のもりでいっしょにあそぼう！
31	柏市聴覚障害者協会	「咲む」上映会

地域福祉を推進するため、柏市民生委員児童委員協議会事務局を担当しました。

項目	内容(回数、人数等)
単位民生委員児童委員協議会	22 地区
定数	577 名[R1. 12. 1 現在定数]
訪問回数	88,367 回/年[累計]
活動日数	72,404 日/年[累計]
主な会議等	<p>三役会(第3火曜)</p> <p>単位民児協会長会議(第4火曜)</p> <p>主任児童委員連絡会</p> <p>※with コロナとしてできることを模索し、研修会等を実施。打合わせはオンラインも取り入れた。</p> <p>その他</p> <p>※福祉部会や市民児協としての活動が難しい中で、各地区にて、講演会やスキルアップ研修等を実施した。</p>

各種関係団体に協力

[柏市]

健康福祉審議会(民生委員審査専門分科会、高齢者健康福祉専門分科会、地域健康福祉専門分科会、市立病院事業検討専門分科会)、保健衛生審議会運営部会、民生委員推薦会、高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会、柏市地域包括支援センター運営協議会、千葉県薬物乱用防止指導員、少年補導センター運営協議会、国民健康保険事業会議、自殺予防対策連絡会議、要保護児童対策地域協議会代表者会議、子どもネットワーク会議、思春期保健関係者会議、ノースモッ子作戦協議会、高齢者安全安心推進会議、柏市社会教育委員、柏市空家等対策協議会委員、振り込め詐欺等対策本部会議など

[柏市社会福祉協議会]

理事会、評議員会、共同募金配分委員会、かしわ福祉権利擁護センター運営委員会、福祉サービス調整委員、心配ごと相談事業、情報公開審査会委員、柏市地域支えあい推進協議会委員など

[その他]

柏市民健康づくり推進員永年功労者感謝状贈呈式、柏市老人クラブ連合会総会、社会を明るくする運動、赤い羽根共同募金運動、あいネット運営委員など

市及び関係機関との連携・支援として、役職員による会議の委員等協力、講師派遣を行いました。また、各種表彰及び民間助成応募に係る推薦も行いました。

(1) 他機関設置会議の委員等協力

① 理事・評議員（設置主体の名称は、令和3年度のもの）

会議名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会 児童健康福祉専門分科会	柏市障害福祉課 柏市福祉政策課 〃
柏市民生委員推薦会	柏市福祉政策課
柏市在宅医療・介護多職種連携会議	柏市福祉政策課
豊四季台地域高齢社会総合研究会	柏市福祉政策課
柏市廃棄物処理清掃審議会	柏市廃棄物政策課
柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	柏市こども福祉課
柏市介護保険施設等事業者選定委員会	柏市高齢者支援課
社会を明るくする運動柏市推薦委員会	柏市福祉政策課
柏市交通政策審議会	柏市交通政策課
柏市空き家等対策協議会	柏市住宅政策課
千葉県社会福祉協議会評議員会	千葉県社会福祉協議会
千葉県市町村社会福祉協議会会長会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県共同募金会理事会	千葉県共同募金会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	柏市社会福祉協議会

② 管理職（設置主体の名称は、令和3年度のもの）

会議名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 高齢者専門分科会 地域健康福祉専門分科会	柏市障害福祉課 柏市高齢者支援課 柏市福祉政策課
柏市自殺予防対策連絡会議委員	柏市福祉政策課
柏市保健所精神保健福祉連絡協議会	柏市保健所保健予防課
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（代表者会議）	柏市保健予防課
柏市権利擁護ネットワーク会議全体会	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（高齢者に関する専 門部会）	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（成年後見制度に関 する専門部会）	柏市地域包括支援課
ラコルタ柏（柏市教育福祉会館）事業推進委員会	柏市福祉政策課 柏市中央公民館

柏市障がい者スポーツ推進連絡会	柏市スポーツ課
柏市社会教育委員会議	柏市生涯学習課
柏市公民館運営審議会	柏市中央公民館
柏市立図書館協議会	柏市図書館
柏市災害医療検討会	柏市防災安全課
千葉県市町村社会福祉協議会局長会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県社会福祉協議会政策調整委員会	千葉県社会福祉協議会
C S W 育成研修評価会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員会	千葉県社会福祉協議会
千葉県福祉人材確保・定着東葛飾地域推進協議会	千葉県健康福祉指導課
千葉県共同募金会支会・分会事務局長会議	千葉県共同募金会
地域福祉推進委員会	全国社会福祉協議会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	柏市社会福祉協議会

③ 職員（設置主体の名称は、令和3年度のもの）

会 議 名	設置主体
柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会	柏市地域医療推進課
柏市地域包括支援センター 運営協議会 センター長会議 社会福祉士連絡会 主任ケアマネ連携会議 医療職連携会議 認知症地域支援推進員会議 主任介護支援専門員連絡会	柏市地域包括支援課 〃 〃 〃 〃 〃 〃
認知症にやさしいまちづくり会議	柏市地域包括支援課
おいじたくあんしんネット報告会	柏市高齢者支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（障害者に関する専門部会）	柏市障害福祉課
柏市障害者差別解消支援地域協議会	柏市障害福祉課
柏市要保護児童対策地域協議会 実務担当者会議	柏市こども福祉課
南部みんなの広場運営委員会	柏市子育て支援課 児童センター
振り込め詐欺等対策会議	柏市防災安全課
柏市乳幼児保健懇話会	柏市教育研究所
柏市フレイル予防プロジェクト 2025 推進委員会	柏市・東大 IOG
地域包括ケアワーキンググループ	柏市・東大 IOG
柏市生涯現役促進協議会	柏市・東大 IOG
柏市地域生活支援センターあいネット運営委員会	柏市地域生活支援センターあいネット
柏市地域生活支援センター支援調整会議	柏市地域生活支援センターあいネット

柏市介護支援専門員協議会総会	柏市介護支援専門員協議会
柏市非営利団体連絡会	タイムストック柏の会
松戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク松戸
千葉社協職員連絡協議会 会長 代議員	千葉県社会福祉協議会
千葉県助け合い協議会	千葉県社会福祉協議会
CSW 育成研修評価会議	千葉県社会福祉協議会
郡市民児協事務局担当者会議	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県民生委員児童委員協議会事業委員会	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県共同募金会支会・分会担当者会議	千葉県共同募金会

(2) 他市視察受入

	期 日	依頼者	主な内容
1	R3. 8. 24	流山市社会福祉協議会	中核機関の業務および協議会運営
2	11. 20	流山市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター設置・運営訓練

(3) 職員の講師派遣

地域の教育機関や各団体等へ地域福祉等の講師として職員の派遣を行いました。

	期 日	依頼者	主な内容
1	R3. 7. 6	松戸市	生活支援コーディネーター内部研修
2	8. 22 (中止)	パレット柏「子育てフォーラム」	育児相談(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
3	10. 4	千葉県手をつなぐ育成会	柏市における中核機関設置及び業務
4	10. 8	永楽台地区民児協	貸付制度
5	11. 4	成田市社会福祉協議会	居場所づくりボランティア養成講座
6	11. 7	六月の村	六月の村フェス事例発表
7	12. 19	認定NPO法人東葛市民後見人の会	社会福祉協議会と日常生活自立支援事業
8	R4. 1. 26	主任児童委員連絡会	コロナ禍におけるひろばの役割
9	1. 28	柏市生涯現役促進協議会	定年退職者応援セミナー全体会
10	2. 4	柏市生涯現役促進協議会	定年退職者応援セミナー分科会
11	2. 5	NPO法人ケアラーネットみちくさ	生活支援担い手養成講座
12	2. 9	全国社会福祉協議会	令和3年度生活支援コーディネーター研究協議会
13	2. 27	はぐはぐ子育て応援フォーラム実行委員会	育児講座(父親向け) 「ドゥーラ パパ手帳を作ろう」
14	3. 4	ワーカーズコレクティブういず	食でつながるフェスタ in ちば

※「わたしの望みノート」や沼南地域包括支援センターからの講師派遣は、各々のページに実施状況を掲載

Ⅲ 会費・寄附・共同募金等

1 会員会費

自主

総務課

町会・自治会・区・管理組合の住民団体、企業、福祉団体、個人から、重要な財源である社協会費の協力を得ました。

種 類	R1	R2	R3
住民団体会員	[277 町会等] 33,656,876 円	[279 町会等] 33,610,029 円	[265 町会等] 31,468,700 円
特別会員	[151 法人等] 1,570,000 円	[150 法人等] 1,540,000 円	[168 法人等] 1,700,000 円
賛助会員 (団 体)	[43 団体] 290,000 円	[44 団体] 305,000 円	[45 団体] 320,000 円
賛助会員 (個 人)	[564 名] 949,000 円	[663 名] 1,114,000 円	[699 名] 1,157,500 円
計	36,465,876 円	36,569,029 円	34,646,200 円

2 寄 附

自主

総務課

善意の寄附金等が多く寄せられました。寄附金は、生活困窮者や子ども食堂への助成等に活用しました。また、物品預託は、福祉施設等へ寄贈しました。

(1) 寄附金

種 類	R1	R2	R3
一 般 寄 附	[144 件] 3,339,034 円	[96 件] 3,581,023 円	[111 件] 2,686,390 円
災 害 対 策 基 金	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円
セーフティーネット基金	[12 件] 60,000 円	[14 件] 180,000 円	[13 件] 85,000 円
柏こども未来基金	[37 件] 437,666 円	[25 件] 775,000 円	[25 件] 743,745 円
支えあい推進基金	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円
計	3,836,700 円	4,536,023 円	3,515,135 円

(2) 物品預託

種 類	R1	R2	R3
衣 料 品 [新品洋服等、寝具類等]	1 件	7 件	2 件
家 庭 用 品 [タオル、マスク、石鹸等日用品]	5 件	7 件	9 件
介 護 用 品 [車いす、紙オムツ等]	10 件	6 件	16 件
ベビー用品 [ベビーカー、チャイルドシート等]	—	7 件	1 件
食 料 品 [米、肉、果物、レトルト食品、菓子等]	17 件	9 件	13 件
学 用 品 [文房具、カバン等]	2 件	—	5 件
そ の 他 [観戦チケット、切手、金券等]	4 件	7 件	4 件
計	39 件	43 件	50 件

3 共同募金 [千葉県共同募金会柏市支会]

事務協力

総務課

(1) 募金方法別の募金額

▶ 赤い羽根募金

赤い羽根募金	R1	R2	R3
戸 別	18,503,030 円	18,004,242 円	17,604,068 円
法 人	592,010 円	503,639 円	422,500 円
学 校	657,852 円	846,753 円	981,690 円
職 域	131,203 円	152,832 円	151,889 円
その他	470,134 円	532,395 円	440,226 円
計	20,354,229 円	20,039,861 円	19,600,373 円

▶ 歳末たすけあい募金

歳末募金	R1	R2	R3
戸 別	10,253,219 円	9,861,133 円	9,399,718 円
法 人	303,859 円	390,500 円	312,500 円
その他	5,000 円	9,000 円	2,000 円
計	10,562,078 円	10,260,633 円	9,714,218 円

(2) 募金協力依頼

住民団体をはじめ、幅広い市民の協力のもと募金活動を実施しました。

また、店舗等に募金箱、しおりの設置及びポスターの掲示、デジタルサイネージ（電子看板）による広報を行いました。

区 分	町会・自治会等	法 人	学 校	募金箱・ポスターの設置
依頼数	295 件	217 件	89 件	公共施設 32 ヶ所 店舗等 56 ヶ所 (しおり) 5 ヶ所



柏駅東口に新設の大型サイネージで啓発動画を放映



市内私立高校がボランティア教育の一環として街頭募金活動

(3) 主な募金・啓発活動

街頭募金活動	感染拡大防止のため中止
募金啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たに 10 か所の店舗等へ募金箱・ポスターを設置し、来街者からの寄附を募りました。 ▶ 柏レイソル選手が語りかける啓発動画を制作し、柏駅頭や店舗・公共施設で放映しました。

4 共同募金・歳末たすけあい配分事業

自 主

総務課

(1) 配分委員会の開催

期 日	主な内容
R3. 7. 21	[第 1 回] 歳末援護金の対象世帯及びランドセル配付対象世帯の調査依頼、歳末援護金配分の見直し、歳末たすけあい財源の活用、今後の団体助成金配分等
11. 12	[第 2 回] 歳末援護金配分、福祉活動団体等助成金等 歳末援護金配分及びランドセル配付の申請状況、福祉活動団体等助成金、歳末たすけあい援護金・非営利団体情報登録・福祉活動団体等助成金の見直し等

R4. 2. 10	[第3回] 生活困窮世帯援護金配分及びランドセル配付結果報告、福祉活動団体等助成の検討および地域課題解決活動プレゼンテーション、歳末たすけあい援護金の見直しに関する経過報告等
3. 1	[第4回] 地域課題解決活動助成団体の最終選考および決定等

(2) 共同募金の配分

① 配分金額

	R1	R2	R3
一般募金配分金	13,691,000円	4,248,000円	14,028,000円
歳末たすけあい配分金	10,556,162円	9,956,500円	9,923,660円
計	24,247,162円	24,204,500円	23,951,660円

② 事業配分

活動区分	主な事業
高齢者福祉	地域活動館運営、ふれあい型給食サービス活動、わたしの望みノート等
障害者福祉	当事者団体支援、ドラムサークル等
児童・青少年福祉	こども・若者支援、「福祉の心」作品展等
母子父子福祉	はぐはぐひろば沼南の充実、子育て支援等
ボランティア	ボランティアセンター運営、災害備蓄等
福祉育成・援助	心配ごと相談事業、地区社協支援等

③ 団体助成配分

助成種類	助成数	内 訳
当事者・福祉団体	17 団体	高齢者福祉、障害児者福祉、児童福祉団体等
ボランティア団体	68 団体	スタートアップ助成 3 団体 地域貢献活動助成 68 団体 ステップアップ助成 7 団体 ※複数区分での交付団体があるため、内訳の合計と助成数は異なる。
地域課題解決活動	4 団体	[布施新町いきいきネットワーク] ▶超高齢化地域における明るく元気な街づくり [NPO 法人 キャリアデザイン研究所] ▶引きこもり問題で悩み、孤立する家族が地域とつながるための支援 [CAP なのはな] ▶子どもへの虐待や暴力の予防活動 [障がい理解推進チームW a ' s] ▶精神・知的障害の疑いのある方及びご家族への相談支援

柏市民生委員児童 委員協議会	1 団体	事務局運営の一部
地区社会福祉協議会	22 団体	基本事業費の一部

5 自動販売機設置経営事業

自 主

総務課

自主財源確保のため、市協力のもと、自動販売機設置経営事業を実施しました。

設置場所	R1	R2	R3
沼南社会福祉センター	3 台	3 台	3 台
老人福祉センター柏寿荘	1 台	1 台	1 台
南部老人福祉センター	2 台	2 台	2 台
沼南老人福祉センター	1 台	1 台	1 台
計	7 台	7 台	7 台
手数料収入合計	409,996 円	188,486 円	249,083 円

IV 地域支援・ボランティア

1 地域活動拠点事業

自主・市補助

地域福祉課

身近な場での相談及び地域活動支援を目的として、令和3年4月に新富地域いきいきセンターを新規開設し、計8つのコミュニティエリア（風早南部、松葉町、光ヶ丘、豊四季台、富勢、田中、南部、新富）に拠点が広がりました。各いきいきセンターでは、週3日の窓口運営を中心に、福祉相談、ボランティア育成、地域づくり等を実施しました。

(1) 風早南部地域いきいきセンター [H21. 4. 1 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	144日	147日	142日
利用件数	1,383件	906件	906件
[手段] 電話	492件	419件	401件
来所	578件	357件	344件
訪問	262件	110件	125件
メール	51件	20件	36件
[目的] 相談	218件	163件	177件
地域関係	821件	540件	487件
事業関係	324件	160件	182件
その他	20件	43件	60件

主な事業

地域活動支援	ふる協との連携（定例役員会・行事に関する資料提供）、地区社協との連携（定例役員会・見守り活動会議・福祉教育パッケージ関連）、多世代交流型コミュニティ実行委員会（たまご教室定例会出席・茶論支援）、民児協との連携、地域支えあい推進員との連携（支えあい分科会、通いの場+サロン代表者交流会、たすけあい活動運営支援）
ボランティア育成等講座	藤ヶ谷ふれあい公園でのラジオ体操講座（沼南地域包括支援センター・介護予防センターほのぼのプラザと共催）
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 66 頁]、沼南地域包括支援センターとの連携（スタッフ会議出席、個別ケース対応協力）、中央公民館との連携（風早南部カルタ会議出席）、沼南地域障害関係機関との連携（東部連絡協議会参加・個別ケース対応協力）

(2) 松葉町地域いきいきセンター [H22. 11. 1 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	141日	146日	144日
利用件数	972件	984件	1,349件
[手段] 電話	245件	375件	460件
来所	496件	412件	625件
訪問	219件	132件	188件
メール	12件	65件	76件
[目的] 相談	102件	151件	158件
地域関係	557件	436件	762件
事業関係	268件	348件	330件
その他	45件	49件	99件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協(地区社協)・民児協との連携(サロン、相談会、定例会議等)、ふる協(地区社協)・民児協・包括等の連携による支えあいの推進(たすけあい団体の活動支援及び交流会の開催、町会・自治会・管理組合の役員会訪問等)、町会単位の支えあい活動と居場所の立ち上げ支援、ふる協・市地域支援課との連携による通いの場(まっばR)の支援
ボランティア育成等講座	実施なし
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施[別記63頁] 北部第2地域包括支援センターとの連携(個別ケース支援及び地域の居場所づくりに向けた連携等)

(3) 光ヶ丘地域いきいきセンター [H25. 5. 11 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	147日	146日	149日
利用件数	1,307件	820件	1,126件
[手段] 電話	432件	265件	361件
来所	666件	454件	623件
訪問	152件	89件	119件
メール	57件	12件	23件
[目的] 相談	153件	152件	291件
地域関係	696件	349件	337件
事業関係	345件	192件	276件
その他	113件	127件	222件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協(執行部会、総会、理事会出席)との連携、地区社協
--------	-----------------------------

	(全体会、役員会、サロン代表者会議への出席、サロンへの訪問)との連携、民児協との連携(定例会への必要時出席)地域支えあい推進員との連携(支えあいコア会議、支えあい会議、サロンボランティアへのアンケート実施、たすけあい団体と居宅介護支援事業所の交流会開催、新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明)、スクールソーシャルワーカーとの連携(情報提供等)
ボランティア育成等講座	実施なし
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 63 頁] 光ヶ丘地域包括支援センターとの連携(定例会議への出席、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席、個別ケース対応協力、認知症カフェの見学)

(4) 豊四季台地域いきいきセンター [H27. 6. 2 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	151日	141日	146日
利用件数	1,300件	1,061件	1,216件
[手段] 電話	540件	571件	552件
来所	419件	320件	367件
訪問	322件	155件	226件
メール	19件	15件	71件
[目的] 相談	141件	150件	96件
地域関係	861件	605件	799件
事業関係	214件	220件	193件
その他	84件	86件	128件
主 な 事 業			
地域活動支援	ふる協、地区社協との連携、ボランティア団体の支援、町会等サロンの再開に向けての支援、ささえ愛実行委員会・WG運営、さんあいネットワーク相談受付、地域支えあい推進員との連携(新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明、通いの場・多世代交流の居場所立ち上げ支援等)		
ボランティア育成等講座	実施なし		
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 63 頁]、豊四季台プロジェクトにおける東京大学・柏市・UR 等関係機関との連携、柏西口地域包括支援センターとの連携(地域ケア会議・地域推進圏域会議への出席等)		

(5) 富勢地域いきいきセンター [H29. 5.28 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	148日	147日	147日
利用件数	970件	816件	1,524件
[手段] 電話	195件	206件	362件
来所	541件	477件	925件
訪問	229件	125件	176件
メール	5件	8件	61件
[目的] 相談	92件	91件	198件
地域関係	642件	495件	704件
事業関係	209件	194件	144件
その他	27件	36件	478件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（地区社協）との連携、サロン・通いの場を訪問、地域支えあい推進員との連携（たすけあい団体立ち上げ支援、支えあい活動推進）、布施新町みらいプロジェクトの活動支援、地域の居場所づくり等にかかる打ち合わせへの参加及び後方支援
ボランティア育成等講座	実施なし
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 63 頁] 北柏地域包括支援センターとの連携（個別ケースの情報共有及び連携支援、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席）、スクールソーシャルワーカーとの連携（個別ケースの対応）

(6) 田中地域いきいきセンター [R1. 8.19 開設]

項目	R1	R2	R3
開設日数	87日	144日	143日
利用件数	657件	1,192件	1,064件
[手段] 電話	250件	567件	370件
来所	273件	405件	451件
訪問	104件	121件	124件
メール	30件	99件	119件
[目的] 相談	35件	83件	191件
地域関係	561件	936件	716件
事業関係	55件	166件	134件
その他	6件	7件	23件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（地区社協）との連携、町会等のサロン訪問、子育て
--------	-----------------------------

	て・高齢者サロンの再開に向けての支援、支えあい活動推進(新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明、支えあい会議開催、地域元気情報の情報収集、田中地域版 相談窓口一覧発行、たすけあい団体支援)小・中学校訪問(子どもの居場所の周知)民生委員・主任児童委員と連携(個別ケース・必要時定例会へ出席)、子育て支援センターとの連携(個別ケース対応・イベント等)
ボランティア育成等講座	実施なし
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施[別記66頁] スクールソーシャルワーカーと連携(個別ケースの対応)、柏北部地域包括支援センターと連携(定例会議への出席、個別ケア会議、地域ケア圏域会議への出席)地域の施設との連携

(7) 南部地域いきいきセンター [R2. 5.11 開設]

項 目	R1	R2	R3
開 設 日 数	—	126 日	135 日
利 用 件 数	—	569 件	873 件
[手段] 電 話	—	216 件	399 件
来 所	—	211 件	274 件
訪 問	—	132 件	189 件
メ ー ル	—	10 件	11 件
[目的] 相 談	—	107 件	325 件
地域関係	—	272 件	315 件
事業関係	—	174 件	164 件
そ の 他	—	16 件	69 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協(地区社協)との連携(町会サロン代表者会議・スキルアップ講座)、町会等のサロン訪問(コロナ禍での活動方法について、助成金の説明)、地域支えあい推進員との連携(新町会長への町会活動ヒアリングと支えあい活動説明、支えあいコア会議、県営住宅でのたすけあい活動立上げ支援等)、主任児童委員との連携
ボランティア育成等講座	「季節を感じるウォーキング講座」(介護予防ほのぼのプラザと共催)
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施[別記63頁]、南部地域包括支援センターとの連携(定例会議への出席、個別ケア会議、地域ケア圏域会議への出席)、かしわ福祉権利擁護センターとの連携(終活応援ルーム「望」)、「南逆井まちづくりプロジェクト」の協力支援(住環境再生課が主担当)

(8) 新富地域いきいきセンター [R3. 4. 27 開設]

項 目	R1	R2	R3
開 設 日 数	—	—	134 日
利 用 件 数	—	—	655 件
[手段] 電 話	—	—	150 件
来 所	—	—	335 件
訪 問	—	—	169 件
メ ー ル	—	—	1 件
[目的] 相 談	—	—	108 件
地域関係	—	—	352 件
事業関係	—	—	144 件
そ の 他	—	—	51 件
主 な 事 業			
地域活動支援	ふる協・地区社協との連携(役員会出席、講座内容検討)、民 児協との連携(必要時定例会に出席)、サロン・シニアクラ ブ訪問、支えあい活動推進(支えあい会議開催、地域元気情 報の情報収集、たすけあい団体支援)		
ボランティア育成等講座	お元気コールボランティア養成講座開催、市社協主催オン ラインフェスティバルのパブリックビューイング開催		
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施[別記 63 頁] 柏西口第2地域包括支援センターとの連携(地域ケア会議、 圏域推進会議出席、ケース共有)		

(9) 包括的な相談支援体制の構築に向けた取り組み

あいネット等との定例会を実施し、ケースの共有及び検討を通じて包括的相談体制の構築に向けた取り組みを進めました。支援関係機関と複合的な課題を抱えたケースを共有し、継続的な伴走支援を実施しました。

内容	連携・共有会議	情報共有ケース	内対応ケース	伴走支援 (対応)延件数
件数	10 回	28 件	27 件	484 件

(10) その他の取り組み

コロナ禍における生活困窮者等に対する生理用品配布の実施窓口として、来所者に対する相談対応等を実施しました。また、3回目のワクチン接種予約に関して、高齢者等予約システムでの予約が難しい市民に対し、電話及び窓口でのサポート、相談対応を実施しました。

(1) 活動支援

市内22の地区社会福祉協議会で、地域の各種支えあい活動を展開しました。また、本会と地区社会福祉協議会が相互に連携が図れるよう、地区担当職員を配置し、福祉団体や行政機関と連携しながら地域福祉の推進に取り組みました。

項目	R1	R2	R3
職員活動回数総数	1,403回	944回	1,103回

▶ 主な地区社協活動

区域	地区社協名	主な活動
北部	田中、柏の葉、西原、 富勢、松葉、高田・松ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 役員会、運営委員会、部会等の会議 ▶ 地域福祉関係者会議 ▶ ボランティア講座、研修・勉強会 ▶ ふれあいサロン・喫茶、子育てサロン
中央	豊四季台、柏中央、新富、旭町、新田原、富里、永楽台	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 見守り、声かけ活動 ▶ 日常生活支援活動 ▶ 世代間交流（ふれあい給食） ▶ 敬老・ふれあい・ひとり暮らしの集い
南部	光ヶ丘、土(増尾)、南部、藤心、酒井根	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 相談窓口の設置、個別ケース相談 ▶ 地区懇談会 ▶ 支えあい会議
東部	手賀、風早南部、大津ヶ丘・塚崎、風早北部	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地区内の支えあい活動団体支援 ▶ その他

(2) 連絡会等の開催

期日	主な内容	出席者
R3. 5.19	第1回 令和3年度地区社協活動助成金申請他（書面会議）	一名
9.15	第2回 第4期柏市地域健康福祉活動計画における地区別計画の中間見直し他（書面会議）	一名
12.15	第3回（支えあいシンポジウム） [基調講演] 「柏のたすけあい、これまでとこれから～たすけられ上手・たすけ上手の地域共生社会づくり～」 講師：上野谷加代子氏（同志社大学名誉教授） [パネルディスカッション] テーマ「たすけられ上手、たすけ上手」 コーディネーター：上野谷加代子氏（同志社大学名誉教授） パネリスト：地域活動者5名 ・柏市ふるさと協議会連合会会長 ・柏市民生委員児童委員協議会会長	145名

		<ul style="list-style-type: none"> ・たすけあいサービス「田中・たすけ愛」 コーディネーター ・通いの場「ふれあいサロン・もっく」 代表 ・増尾地域支えあい推進員 	
R4. 1. 19	ふるさと協議会連合会合同	会計担当者初任者研修	20名
2. 28	第4回	令和3年度地区社協活動助成金実績報告他（書面会議）※説明動画の配信	一名

(3) 活動助成金の交付

継続的な活動展開のため、運営及び活動費等を助成しました。地区別計画推進、支えあい活動、担い手育成、ネットワークづくり等を重点に交付しました。

地区社協助成金	R1	R2	R3
助成金総額	30,920,000円	30,990,000円	27,650,000円

(4) 情報提供

地区社会福祉協議会が発行した広報紙や、関係機関の事業及び講座・研修等の情報を各地区社会福祉協議会に提供しました。[毎月送付]

(5) 活動実績報告書の作成

前年度活動実績の報告書を作成しました。[約100部]

(6) 地区社協一般参加者傷害補償保険の加入

活動に参加する高齢者等一般住民のケガ等に対する傷害保険に加入しました。

3 生活支援体制整備事業

市委託・市補助

地域福祉課

地域支えあい推進協議会の開催・運営、支えあい会議の運営、支えあい推進員の育成・活動支援、たすけあいサービス、通いの場の担い手の養成やサービスの開発の業務を行いました。たすけあいサービス及び通いの場事業費補助事業を実施しました。

(1) 地域支えあい推進協議会

つながりと支えあいのある地域の実現に向け、現状の活動や体制構築が適切に進められているか、進捗状況を報告し、課題解決を中心に議論しました。

期 日	主な内容
[第1回] R3. 9. 24 (書面会議)	元気高齢者づくりの具体的な取り組み方針について
[第2回] R4. 2. 25 (書面会議)	令和4年度生活支援体制整備事業の進め方について

(2) 支えあいシンポジウム

『「たすけられ上手、たすけ上手」を目指して』をテーマに掲げ、支えあい事業に取り組んできた5年間の成果を振り返るとともに、これからの支えあい活動の展開について考えを深めました。

(3) 地域協議体（支えあい会議）

支えあい会議の開催 [全9地域 / 12回開催]

地 域	回数	期 日
田 中	2回	① 5.15 ②11.27
柏 の 葉	1回	① 2.5
西 原	2回	① 7.17 ②10.10
新 富	1回	① 11.6
富 里	1回	① 11.6
永 楽 台	1回	① 12.9
増 尾	1回	① 10.21
光ヶ丘	1回	① 11.22
酒 井 根	1回	① 10.29
風早北部	2回	① 4.30 ② 12.23

(4) 生活支援コーディネーター

① 第1層コーディネーター

地域支えあい推進協議会の運営、地域支えあい推進員の育成・支援、市域の人材育成、資源開発などを実施しました。

ア 第2層コーディネーター（地域支えあい推進員）定例会開催

イ 人材育成（一般公開講座）

▶ オンライン入門講座（全3回）

期日	主な内容	参加者
R3.8.20	ZOOMの基本を学ぶ（会場参加）	24名
8.26	ZOOMの楽しさを味わう（オンライン参加）	24名
9.2	動き出す（オンライン参加）	24名

▶ オンラインミニ講座（全2回）

期日	主な内容	参加者
R3.9.29	ZOOMの基本を学ぶ（会場参加）	9名
9.30		6名
10.4	ZOOMの楽しさを味わう（オンライン参加）	13名

▶ オンライン応用講座(オンライン参加)

期日	主な内容	参加者
R3. 9. 17 午前 (スマホ・タブレット対象)	ZOOMのホストを担うために必要な準備や技術を学ぶ	3名
R3. 9. 17 午後 (パソコン対象)		42名

▶ R3年度オンラインでつくる!みんなの居場所講座受講者フォローアップ
自主グループ化に向けてのサポート (通年)
シニアのためのオンラインフェスティバル開催

期日	内容	延参加者
R3. 10. 20	講座受講者が中心となって、ZOOMによるオンラインフェスティバルを開催	450名

ウ 企業との連携

シニア層へのオンラインの普及やたすけあいサービスの重層化を目指し、市内企業との関係作りを行いました。

② 第2層コーディネーター (地域支えあい推進員)

ア 委嘱15地域 [欠員: 田中、柏の葉、松葉、柏中央、新富、旭町]

イ 研修・定例会

外部研修	2回延べ8名参加 [R3. 7. 28] 生活支援体制整備事業に係る市町村研修会(2名) [R4. 2. 9] 生活支援コーディネーター研究協議会(6名)
定例会	毎月1回開催 (内1回は研修) [R3. 4. 22] 意見交換「令和3年度の取り組みについて」 [5. 14] ZOOMを学ぼう/意見交換「今動き出していること・考えていること」 [6. 15] 介護予防個別会議の変更点について/JAGESの活用について/意見交換「JAGESをどのように活用できるか」 [7. 16] 意見交換「元気な高齢者になるために何が必要か」・「地域の中で何に取り組めばいいか」 [8. 18] 意見交換「地域元気情報の活用について」 [9. 14] 意見交換「元気高齢者づくりの具体的な取り組み方針(案)について」 [10. 13] ZOOM研修「5年後の地域をイメージしながら改めて「活動」の意味を考える」講師: 澤岡 詩野 氏 [11. 11] 10月定例会の振り返り/移動販売の状況について [12. 9] 報告 地域元気情報について/推進協議会について/意見交換「視察研修、定例会でやりたいこと」

- [R4. 1. 14] コミュニティ・コーピング体験
 講師 一般社団法人コレカラ・サポート
 代表理事 千葉 晃一 氏、理事 影山 貴大 氏
- [2. 15] 地域支援 Co 研究協議会の報告/活動紹介/意見交換
 「次年度に向けた取り組みについて」
- [3. 10] 推進協議会の報告/仕様書、実績報告及び月次報告、契約書について/次年度の定例会予定について

ウ 活動 [延1, 169回]

	支えあい 会議、WG、 打合せ	地域活動等 への参加	活動の準備 及び立上げ までの支援	普及啓発	資料の 準備・作成	定例会、研修 地区担との 打合せ	合 計
柏 中 央	—	—	—	—	—	—	—
新 田 原	11	9	3	0	0	30	53
永 楽 台	0	39	1	0	0	25	65
富 里	2	24	4	2	1	37	70
豊四季台	7	56	5	0	1	30	99
旭 町	—	—	—	—	—	—	—
新 富	—	—	—	—	—	—	—
高田・松ヶ崎	11	36	0	3	2	38	90
松 葉 町	—	—	—	—	—	—	—
田 中	—	—	—	—	—	—	—
柏 の 葉	—	—	—	—	—	—	—
西 原	15	17	4	1	5	18	60
富 勢	0	35	4	3	5	25	72
増 尾	15	13	25	3	5	11	72
藤 心	2	37	15	1	4	12	71
光ヶ丘	18	26	0	2	32	20	98
酒井根	4	10	1	7	3	23	48
南 部	0	56	0	0	14	71	141
風早北部	4	29	13	0	21	12	79
風早南部	2	11	4	8	9	21	55
手 賀	1	35	8	13	11	28	96
合 計	92	433	87	43	113	401	1,169

(5) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

① 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）フォローアップ講座

※オンラインでの開催

期日	主な内容	参加者
R4. 2. 22	かじサポの実態を知ろう	8名

② 生活支援人材無料職業紹介所

求職者	求人事業所	採用決定
0名	3事業所	0名

③ たすけあい活動団体オンライン情報交換会

期 日	主な内容	参加者
R3. 7. 21	ごみ出しの事例を基にした意見交換	32名

④ 通いの場オンライン交流会

期 日	主な内容	参加者
R3. 4. 2	コロナ禍における通いの場事業の運営について	16名
R4. 1. 18	コロナ禍における運営の工夫や課題の共有・意見交換	15名

⑤ 通いの場及びサロン団体研修会（ハイブリッド型）

期 日	主な内容	参加者
R3. 9. 7	サロンや通いの場の意味合いを考える	49名

(6) たすけあいサービス及び通いの場事業費補助金交付

① 補助金の交付審査

	主な内容
書類審査及び ヒアリング	たすけあいサービス 59件 通いの場サービス 21件
現地調査	通いの場サービス 5件
交付審査会	▶ 常設型通いの場事業費補助金「運営費補助・家賃補助」 交付審査会 3件

② 補助金交付団体

▶ たすけあいサービス事業費補助金交付団体

	R1	R2	R3
交付団体	60団体	62団体	59団体
(内訳) 町会	31団体	34団体	32団体
コミュニティ	18団体	18団体	18団体
複数コミュニティ	11団体	10団体	9団体
活動登録者数	1,651名	1,729名	1,623名
(内訳) 町会	827名	869名	785名
コミュニティ	608名	690名	688名
複数コミュニティ	216名	170名	150名
利用者数（登録又は実人数）	2,225名	2,171名	2,730名
(内訳) 町会	757名	700名	986名
コミュニティ	491名	524名	664名
複数コミュニティ	977名	947名	1,080名
内ゴミ出し利用者実人数	—	271名	392名
(内訳) 町会	—	100名	121名
コミュニティ	—	128名	156名
複数コミュニティ	—	43名	115名

年間延べ活動者数	21,457名	15,512名	17,043名
(内訳) 町会	4,943名	4,517名	4,251名
コミュニティ	8,927名	6,599名	7,850名
複数コミュニティ	7,587名	4,396名	4,942名
▶ 通いの場事業費補助金交付団体			
	R1	R2	R3
交付団体数	19団体	18団体	21団体
(内訳) 週一型	12団体	12団体	13団体
常設型	7団体	6団体	8団体
年間延べ開設回数	2,531回	968回	1,607回
(内訳) 週一型	980回	264回	446回
常設型	1,551回	704回	1,161回
年間延べ利用者数	57,249名	15,192名	23,662名
(内訳) 週一型	18,458名	3,394名	5,202名
常設型	38,791名	11,798名	18,460名
一日あたり利用者数	438名	229名	339名
(内訳) 週一型	265名	135名	220名
常設型	173名	94名	119名

③ 補助事業の広報・周知

次年度の補助事業について、広報かしわ（地域包括支援課協力）、本会ホームページへ掲載、窓口での配布をしました。また、補助制度の説明会を開催しました。

(7) たすけあいサービス実施団体向けの活動保険加入受付

① 活動補償事業の広報・周知

地区社会福祉協議会、非営利団体連絡会等、たすけあいサービスを実施する団体への通知を行いました。

② 保険加入等の状況

	町会エリア	コミュニティエリア
申請受付団体数	35団体	16団体
申請事務（延べ活動従事者数）	10,568名	
事故対応数	3件	
賠償対応数	1件	

(8) 支えあい推進活動支援金交付

たすけあいサービス及び通いの場事業新規立ち上げ団体を対象に、立ち上げ支援金を交付しました。

▶ たすけあいサービス立ち上げ支援金

交付団体数	交 付 額
3団体	150,000円

▶ 通いの場事業立ち上げ支援金

交付団体数	交 付 額
3 団体	150,000 円

(9) 地域元気情報の発行

地域住民の活躍の場をお知らせし、参加を推進するため、様々な地域活動等をまとめた地域元気情報を発行しました。



地域元気情報

① 柏市域版（6,000部発行）

スマホやパソコンから見ることができる情報サイトをまとめ、はたらく、習う・学ぶ等のカテゴリー別のホームページを紹介しました。

② 地域版（200部×21地域発行）

地域毎に、たすけあい・通いの場・サロン、身近なサークル情報を計990団体紹介しました。

4 ボランティア活動 [ボランティアセンター]

自主・市補助

地域福祉課

(1) 啓発活動

ボランティアセンターパンフレット、登録ボランティア団体一覧、通年ボラ冊子（ボラ∞）などの発行、メール配信サービスを利用したボランティア情報のお知らせメールの配信等を行いました。

(2) ボランティアの育成講座

項 目	R1	R2	R3
講座数	7 講座 26 回	8 講座 15 回	7 講座 15 回
延参加数	435 名	219 名	246 名

▶ 実施講座一覧

講座名称	回 数	延人数
ボランティア入門講座	4 回	81 名
精神保健ボランティア養成講座（全4回） ※3回目は体験として8/31～9/24の間で実施	4 回	38 名
災害ボランティアコーディネーター養成講座	3 回	68 名
災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	1 回	28 名
車椅子点検ボランティア交流会	1 回	7 名
個人登録ボランティアフォローアップ講座	1 回	18 名
ハンドメイドボランティア交流会	1 回	6 名



ボランティア入門講座



車椅子点検ボランティア交流会

(3) ボランティアの登録・支援

活動の促進を図るため、グループへの助成金交付、活動上の連絡調整や課題等の相談支援を行いました。

① 社協登録

登録種別	R1	R2	R3
グループ	134グループ 2,748名	132グループ 2,381名	131グループ 2,375名
個人	1,094名	931名	880名
計	3,842名	3,312名	3,255名

② 登録NPO法人

登録種別	R1	R2	R3
NPO法人	28団体 2,801名	29団体 2,770名	29団体 2,770名

(4) ボランティア相談及び紹介事業

ボランティア活動に関するさまざまな相談に対応するため、ボランティアコーディネーターによるボランティア相談を実施しました。

① 各種相談 [ボランティア相談等]

相談区分		R1	R2	R3
ボランティア活動に関する相談	活動依頼	1,228件	185件	211件
	活動希望	817件	283件	354件
	活動関係	1,562件	1,460件	1,860件
	備品関係	921件	378件	84件
その他の相談・問合せ	福祉相談等	1,324件	613件	481件
計		5,852件	2,919件	2,990件

② ボランティアコーディネート

内容区分	R1	R2	R3
活動情報等希望	0件	0件	0件
障害者関係	9件	1件	9件
高齢者関係	11件	4件	10件

児童関係	55件	31件	64件
レクリエーション	269件	23件	12件
イベント関係	96件	10件	12件
傾聴関係	1件	2件	1件
収集ボランティア関係	0件	1件	0件
環境関係	0件	0件	0件
その他	2件	2件	0件
計	443件	74件	108件

(5) ボランティア活動保険・行事用保険

ボランティア活動者の保険（登録外ボランティア、災害支援ボランティア等）及びボランティア行事用保険の契約手続を行いました。

保険種別	R1	R2	R3
活動保険	176件[1,159名]	84件 [998名]	114件[1,010名]
行事保険	123件[9,885名]	42件 [4,475名]	49件[3,265名]
計	299件[11,044名]	126件 [5,473名]	163件[4,275名]

5 災害ボランティアセンター

自主

地域福祉課

(1) マニュアル改訂・資機材整備

コロナ禍に対応した災害ボランティアセンターのあり方について検討し、感染予防対策及び密を避けた会場レイアウトに変更し本会及び市役所の駐車場にて立ち上げ訓練を行いました。

また、災害時に物資、人員の輸送に活用可能な車輛を令和3年9月に購入しました。



購入した車輛（ハイエース）

(2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアセンター運営に市民の参画を得るため、コーディネーター養成講座（訓練含む）を開催しました。 現在登録者 102名

項目	R1	R2	R3
養成人数	16名	22名	7名

(3) 災害ボランティアコーディネーター自主勉強会等

災害ボランティアコーディネーター修了者のフォローアップとしてスキルアップ講座を開催しました。

期日	講座名	主な内容
R3.9.16	災害ボランティア	「地域で様々な困難を抱えて生活してい

	コーディネーター フォロー講座	る方々を知る」 講師：柏市中心身障害者福祉連絡協議会
--	--------------------	-------------------------------

(4) 職員研修・訓練

万一の体制整備の一環として、研修及び訓練を実施しました。

期 日	項 目	主な内容
毎月 1 回	初期行動訓練	メーリングリストによる送受信訓練
R3. 11. 11	職 員 研 修	マニュアル確認と訓練説明他
11. 20	災害ボラ訓練	災害ボランティアセンター設置・運営訓練 参加者数 29 名（新規 7 名 修了者 22 名）



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

6 ふれあい型給食サービス

自 主

地域福祉課

ひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが中心となって手作り弁当の配食（会食）を実施している団体の助成等を行いました。

団体名	R1	R2	R3
みのり会富勢地区 [富勢地区]	311 名	0 名	0 名
富里地区社協とみさと会 [富里地区]	601 名	44 名	85 名
ゆずり葉の会 [沼南エリア]	1,076 名	0 名	0 名
計	1,988 名	44 名	85 名

※表中の利用者数は、助成対象事業の利用者数（1食あたり 200 円を助成）

7 柏市総合福祉センター関係事業

市委託

地域福祉課

(1) イベント開催事業

ラコルタ 2 階多世代交流スペースは「屋内型の多世代公園で様々なイベントが開催されている場」というイメージで多様な団体からの提案による連携事業を展開しました。

相談、居場所、学習支援、子育て、フレイル予防、障害理解等ニーズに沿った対象別事業を多世代の関わりを意識しながら実施しました。

① イベント

イベント項目	R1	R2	R3
多世代交流	—	—	5種 12回 1,485名
子育て向け	—	2種 6回 148名	14種 37回 517名
児童健全育成	—	—	7種 23回 474名
障がい理解・支援	—	2種 3回 15名	6種 14回 218名
シニア向け	—	—	7種 20回 143名
相談支援	—	3種 6回 11名	7種 82回 696名
人材育成	—	3種 4回 50名	3種 3回 50名
展示	—	—	4種 4回 —
計		10種 19回 224名	53種 195回 3,583名



多世代交流「月に一度は遊びたいム！」



子育て向け「0ちゃんの時間」



シニア向け「ふまねっと運動」

② 利用状況

項目		R1	R2	R3
多目的研修室 1	昼	—	37件 338名	398件 3,796名
	夜	—	2件 12名	59件 383名
多目的研修室 2	昼	—	34件 293名	376件 3,480名
	夜	—	1件 7名	38件 206名
講座室	昼	—	35件 322名	365件 3,407名
	夜	—	0件 0名	11件 59名
活動室	昼	—	17件 104名	253件 1,559名
	夜	—	0件 0名	10件 70名
計		—	126件 1,076名	1,510件 12,960名

③ 親子スペースを利用する親子の「孤育て」による育児不安や悩みを聞いたり、利用者同士をつなぎ交流を促進したり、スペースの環境整備をするサポートボランティアを配置しました。

④ イベント開催の告知は、紙媒体だけでなく、HP や SNS 等を活用し、様々な世代の方が気軽にイベントに参加できるよう広報を行いました。

(2) コミュニケーション支援事業

視覚障害者等が情報を得やすい環境をつくるためのボランティア人材を養成しました。

種類		R1	R2	R3
		延受講者数／修了者数／団体入会数		
点訳奉仕員養成講座	全10回	—	—	133名／13名／9名
音訳ボランティア養成講座	全20回	—	—	417名／21名／21名
計		—	—	550名／34名／30名

8 地域子育て支援拠点事業

市委託

相談支援課

核家族化や地域の繋がりが希薄になる中、子育て中の親子の孤立化を防ぎ、子育てに係る負担を軽減させ、親同士の支え合いや子ども同士の育ち合う関係づくりを目的としています。ひろば内では、未就学児の親子や妊娠中の方が気軽に交流し、情報交換をしています。



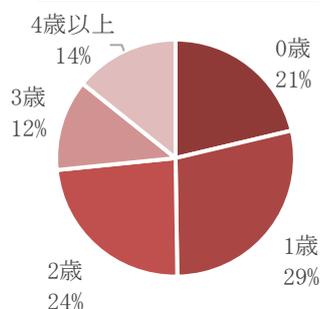
地域子育て支援拠点事業「はぐはぐひろば沼南」

感染予防対策として予約制による3枠(1枠2時間)入替制とし、入替ごとに施設内を消毒しました。なお、イベントや育児講座等については、3密を避ける対策を講じながら予約制で実施しました。

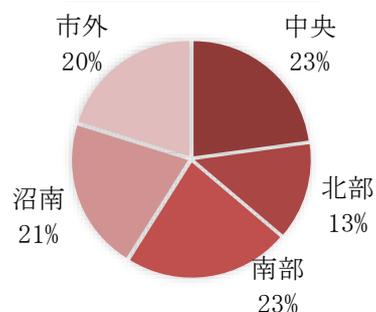
(1) 利用者数

項目	R1	R2	R3
相談件数	315件	290件	222件
年間利用者数 [世帯数]	22,922名 [9,500世帯]	14,153名 [5,872世帯]	14,442名 [5,953世帯]

こどもの年齢別割合



利用世帯別エリア



(1) 相談実績

項目	R1	R2	R3
相談件数	701件	1,023件	1,202件
[手段] 来所	567件	943件	1,056件
電話	37件	49件	68件
出張 (※1)	97件	18件	69件
その他 (※2)	—	13件	9件
[新規]	514件	686件	331件
[継続]	187件	337件	871件
他機関へ繋ぐ	8件	7件	17件

※1 [主な出張先] T-SITE 柏の葉／ラコルタ柏

※2 [その他] 他機関からの問い合わせ (気になる利用者)

(2) 主な相談内容

項目	R1	R2	R3
基本的な生活 [睡眠・授乳・離乳食等]	140件	157件	177件
育児方法 [健康・教育・しつけ等]	182件	296件	315件
発育発達 [言葉・性格・社会性等]	139件	219件	328件
医療関係 [病気・事故・予防接種等]	34件	24件	30件
生活環境 [家庭・近隣・人的関係]	92件	194件	273件
園生活 [入園・在園等]	124件	147件	157件
母自身の悩み	—	120件	112件
その他	202件	99件	116件

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため(1)相談実績の件数と一致しない

10

こどもの居場所活動団体の支援

自主

地域福祉課

こども食堂、学習支援のこどもの居場所団体の継続的な活動を支援するため、活動運営及び活動費等を助成しました。

こどもの居場所活動助成金	R1	R2	R3
助成金総額	457,000円	500,000円	700,000円
団体数	7団体	7団体	11団体

新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに基づき、十分な対策を講じたうえで運営を行いました。運営開始から2年目は、多様な機能を持つ開かれた場づくりとコミュニティ活動を意識し、団体の活動支援等を実施しました。

また、6月からは新たに3団体が連携・協力して“かふえねっと豊四季台”を立ち上げ、毎週水曜日に通いの場（カフェ）がスタートしました。

さらに、7月からは障害理解や就労支援等を目的とした製品販売の場「かしわモノづくりマルシェ」が毎月第2木曜日に開催されています。



項目	R1	R2	R3
延べ利用団体数	273 団体	123 団体	256 団体
延べ活動者数	1,073 名	552 名	1,091 名
延べ参加者数	5,151 名	892 名	2,636 名
情報交換会	—	148 団体 195 名	155 団体 165 名

※令和元年度は東京大学による運営

※緊急事態宣言の発出期間中は閉館しました。

V 福祉教育

1 福祉教育パッケージ指定地域の支援

県社協助成

地域福祉課

千葉県社会福祉協議会・千葉県教育委員会による福祉教育パッケージの指定について、高柳小学校、高柳西小学校、高柳中学校、沼南高柳高校、風早南部地区社会福祉協議会が指定を受けることになりました。令和3年度は各学校間の連携のために連絡会が実施されました。

地域関係者に福祉パッケージについて共有する場を設けるため準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止となりました。

2 体験学習支援

自 主

地域福祉課

(1) 福祉体験への支援

高齢者疑似・白杖・車いす・手話・点字体験や障害理解の講話等を企画した学校・企業等[延 1,026 名]に対し、ボランティア[延 13 名]や職員を派遣し、体験学習支援を行いました。また、障害当事者団体と連携した講座も実施しました。

区 分	R1	R2	R3
小 学 校	10 回	3 回	7 回
中 学 校	1 回	0 回	1 回
高校・大学・専門	2 回	1 回	1 回
地 域	7 回	1 回	3 回
企業・その他	4 回	2 回	2 回
計	24 回	7 回	14 回

(2) 福祉教育ボランティアの交流会

コロナ禍での福祉教育出前講座の現状や今後の進め方についての意見交換と次年度の継続確認をしました。

(3) 夏季ボランティア体験【夏ボラのススメ】

青少年（小学生から大学生まで）を対象に、夏休みを利用したボランティア体験学習を実施しました。そのために、市内の施設・団体の協力を得て夏季ボランティア体験学習の受入先を紹介する冊子「夏ボラのススメ」を作成しました。

[実施期間：R3. 7. 1～8. 31]

項 目	R1	R2	R3
受入施設	95 施設	76 施設	55 施設

受入団体	42 団体	32 団体	34 団体
体験人数	延 676 名	延 132 名	延 360 名

(4) 福祉教育普及パンフレット「ふくしの種」

児童が福祉に触れる機会の充実を図るため、市内小学生に対し、「おうちの人と考える福祉」をテーマに、普及啓発パンフレットを配布しました。



普及啓発パンフレット「ふくしの種」

(5) 福祉体験教室

当事者やボランティア団体・多世代交流連携団体の協力を得て、小・中・高校生を対象に、夏休み期間中を利用した福祉体験教室を介護予防センターいきいきプラザ及び沼南社会福祉センターで実施しました。

項目	R1	R2	R3
開催日数	2 日	2 日	7 日
内 容	盲導犬について学ぶ	盲導犬ユーザーとパピーウォーカーについて学ぶ	①介護未来案内人 ②点字体験 ③手話ソング体験 ④障がいのある子どもいも一緒に楽しもう！ ⑤認知症って何だろう？ ⑥盲導犬について ⑦車いす体験
参加人数	62 名	60 名	129 名

(6) 体験機材等の貸出

項目	R1		R2		R3	
車 い す	23 件	173 台	11 件	69 台	16 件	110 台
高齢者疑似体験道具	31 件	302 個	14 件	99 個	15 件	122 個
ア イ マ ス ク	25 件	317 枚	貸出中止		貸出終了	
白 杖	18 件	246 個	18 件	220 個	21 件	248 個
点 字 練 習 器	6 件	222 個	5 件	248 個	9 件	216 個
沐浴・妊婦体験道具	4 件	23 個	3 件	12 個	5 件	12 個

3 「福祉の心」作品展

自

主

地域福祉課

市内小・中学校の児童・生徒を対象として、「今、私にできるやさしさ」をテーマにポスター作品を募集し、福祉に対する意識の高揚を図りました。入賞作品はイオンモール柏店、モラージュ柏、ラコルタ柏、沼南社会福祉センターで展示しました。



ラコルタ柏での作品展示

種 類	R1	R2	R3
ポスター	223 点	395 点	307 点

4 実習生の受入

自

主

企画調整室

未来の福祉を担う人材の育成に貢献するため、実習生を積極的に受け入れました。

(1) 社会福祉士実習 ※企画調整室

項 目	R1	R2	R3
受入数等 [24 日実習]	7 名 上智大、日本大、東洋大、 聖徳大、日本福祉大、 帝京科学大学 ※内 1 名は 30 日実習	7 名 淑徳大、聖徳大、帝京平 成大、日本福祉教育専門 学校 ※内 2 名は 16 日実習	13 名 日本福祉大、淑徳大、聖 徳大、帝京平成大、東洋 大、帝京科学大、筑波大、 日本福祉教育専門学校 ※内 2 名は 16 日実習

(2) 公衆衛生看護学実習 ※沼南地域包括支援センター

項 目	R1	R2	R3
受入数等 [4 日実習]	1 名 聖徳大学	1 名 聖徳大学	1 名 聖徳大学

(3) 老年看護学実習 ※老人福祉センター 3 館

項 目	R1	R2	R3
受入数等 [1 日実習]	81 名 東京情報大学 葵会柏看護専門学校	79 名 葵会柏看護専門学校	80 名 葵会柏看護専門学校

(4) 母性看護学実習 ※子育て支援グループ

項 目	R1	R2	R3
受入数等 [1~2 日実習]	14 名 慈恵柏看護専門学校	16 名 葵会柏看護専門学校	45 名 慈恵柏看護専門学校 葵会柏看護専門学校

(5) 中学校職場体験 ※ほのぼのプラザますお

項 目	R1	R2	R3
受入数等 [1 日実習]	1 名 白山中学校/生徒	—	—

(6) 東京大学オンライン実習 ※子育て支援グループ

項 目	R1	R2	R3
受入数等	—	4 名	—

VI 在宅福祉サービス

1 さわやかサービス

自主・市補助

総務課

市民相互の支えあいを基盤に、会員制による住民参加型有償在宅福祉サービス事業（さわやかサービス）を実施しました。日常生活にお困りの高齢者・障害者、産前産後の母親などを対象とし、感染対策に配慮した上でサービス提供しました。

今年度より事務所はいきいきプラザから沼南社会福祉センターに移転しました。



さわやかだより

(1) 会員登録数

区 分		R1	R2	R3
利用会員	登 録 数	591 名	632 名	719 名
	年度中入会数	216 名	191 名	219 名
	年度中退会数	183 名	150 名	132 名
協力会員	登 録 数	149 名	168 名	168 名
	年度中入会数	31 名	32 名	34 名
	年度中退会数	21 名	13 名	34 名

(2) サービス実施状況

① 生活援助サービス・介護サービス

支援が必要な方（利用会員）に対し、協力会員による生活援助サービス、介護サービスを実施しました。

種 類	R1	R2	R3
生活援助サービス	3,651 件	2,714 件	3,371 件
	5,098 時間	3,995 時間	5,225 時間
[内訳] 産前産後支援	484 件	430 件	597 件
	887.5 時間	722.5 時間	1,062 時間
介 護 サ ー ビ ス	545 件	239 件	367 件
	888 時間	423 時間	621 時間
計	4,196 件	2,953 件	3,738 件
	5,986 時間	4,418 時間	5,846 時間

② 相談事業

窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施しました。

区 分	R1	R2	R3
会員からの相談	4,164 件	3,622 件	3,628 件
会員外からの相談(ケアマネ等)	385 件	382 件	547 件

(3) 人材育成・交流活動

種 類	主な内容	R1	R2	R3
協 力 会 員 登 録 時 研 修	新規登録の協力会員を対象 とした基礎研修	7 回 34 名	7 回 32 名	5 回 38 名
講習・研修会	産前産後講習、協力会員研修 コーディネーター研修	5 回 84 名	2 回 32 名	4 回 34 名
会 員 交 流 会	全体交流会、男性協力会員 交流会	1 回 28 名	0 回 0 名	0 回 0 名
非 営 利 団 体 連 絡 会	オンライン情報交換会	2 回 40 名	0 回 0 名	1 回 2 名

(4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」 「広報かしわ」、協力会員募集チラシ	[随 時] 事業内容周知、協力会員募集
産 前 産 後 支 援 チ ラ シ 会 報 「 さ わ や か だ よ り 」	[随 時] 利用対象者に向け支援内容周知 [年 3 回] 会員・関係機関配布 ※7月25日、11月25日、3月25日発行
非 営 利 団 体 連 絡 会 と の 合 同 パ ン フ レ ッ ト 作 成	[年 1 回] 各団体活動周知、会員募集

2 移動サービス

自主・市補助

総務課

車いすを使用し、公共交通機関を利用することが困難な方について、福祉車両(6台)による移動支援を行いました。コロナ感染拡大防止のため、消毒等の徹底、また運転席と後部座席の間にシートを貼るなどの対策を講じました。



移動サービスを行う福祉車両「こらくだくん」

(1) 利用件数等

項 目	R1	R2	R3
登録者数	390 名	412 名	455 名
利用件数	5,681 件	4,506 件	5,199 件
稼働日数	289 日	293 日	293 日

走行距離	100,136 km	89,799 km	91,480 km
車両1台あたりの 1日平均利用件数	3.3件	2.5件	3.0件

(2) 福祉有償運送運転者講習会の開催（国土交通省認定）

新たなサービス提供者の育成を目的に、福祉有償運送運転者講習会を開催しました。

項目	R1	R2	R3
福祉有償運送運転者講習	8名	13名	10名
[内訳] 市内	1名	5名	4名
市外	7名	8名	6名
期 日	R1. 10. 25・26	R2. 10. 23・24	R3. 10. 29・30

3 かしわファミリー・サポート・センター事業

市委託

相談支援課

安心して子育てができる環境づくりを目指し、育児の援助を行うことを希望する人（協力会員）と、その援助を受けることを希望する人（利用会員）で構成する、会員相互による育児の援助活動の相談及び支援を行いました。また、今年度は、ニーズに対して会員の少ない北部地域の協力会員獲得のため、松葉近隣センターで協力会員基礎研修会を実施しました。一時預かり（ぞうさんルーム）では、預かり時間の6時間枠を新たに増設しました。

(1) 会員登録数

区 分		R1	R2	R3
利用会員	登 録 数	1,960名	2,014名	2,079名
	年度中入会数	299名	197名	218名
	年度中退会数	114名	143名	153名
協力会員	登 録 数	290名	303名	333名
	年度中入会数	25名	46名	43名
	年度中退会数	19名	33名	13名
両方会員	登 録 数	103名	113名	122名
	年度中入会数	23名	24名	25名
	年度中退会数	6名	14名	16名

(2) 入会説明会・研修等

種 類	内 容	R1	R2	R3
利用会員入会 説 明 会	利用に関する説明	0回	0回	0回
	※令和元年より廃止	0名	0名	0名
	随時個別説明を実施	—	—	—
基礎研修会 [協力会員]	子供の心身発達・応 急処置等	4回 46名	6回 58名	10回 68名

協力会員フォロー アップ研修会	研修会、幼児安全法 救急講習会	9回 122名	5回 59名	7回 89名
ファミサポ フェスタ	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	1回 230名	0回 (中止)	0回 (中止)
地区別交流会	協力会員の交流 事例検討	0回 (中止)	1回 1回	1回 1回
地区リーダー 連絡調整会議	各地区の活動状況と 問題点	10回 183名	9回 164名	9回 166名

(3) 援助活動状況

項目	R1	R2	R3
事前打ち合わせ件数	282件	180件	188件
援助活動件数	11,082件	5,937件	6,914件
ぞうさんルーム (一時預かり)	[実施場所] 沼南社会福祉センター [実施回数及び利用者数] 71回/140名		

※新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、年間を通じて通常の援助は実施。

ぞうさんルームについては、実施場所のひろばが予約制のため、利用人数を半分に縮小して実施。

(4) 普及啓発活動

項目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」	[随時] 事業内容周知、会員募集
「広報かしわ」	[随時] 事業内容周知、会員募集
協力会員向けリーフレット作成	[随時] 事業内容周知、会員募集
利用会員向けリーフレット作成	[随時] 事業内容周知、会員募集
ポスターの作成・掲示	市内保育機関、関係施設へ周知と会員募集
広報紙「ぞうさん通信」	[年4回] 会員・関係機関配布

4 車いすの貸出

自主

相談支援課

緊急的かつ一時的に車いすを必要とする方に対し、無料で車いすを貸し出しました。

貸出場所	R1	R2	R3
ボランティアセンター	270件	208件	—
いきいきプラザ	—	—	302件
沼南社会福祉センター	100件	50件	75件
柏 寿 荘	8件	—	—
南部老人福祉センター	14件	—	—
計	392件	258件	377件

※ 令和3年度から貸出場所を一部変更しました（ボランティアセンターからいきいきプラザへ）

VII 介護予防

1 介護予防センターにおける介護予防事業

市委託

地域福祉課

介護予防センター「ほのぼのプラザますお」及び「いきいきプラザ」を拠点として、介護予防の普及啓発、介護予防を支援する人材育成を目的に介護予防講座を実施するとともに、地域におけるサロン活動等の支援を行いました。

(1) 介護予防講座

介護予防を地域で担う人材を育成するための講座や高齢者の健康維持・介護予防につながる各種の講座を開催しました。

区 分		講座数		参加者数
		種類	回数	
ほのぼのプラザ ますお	一般	53 種	54 回	599 名
	人材育成	6 種	6 回	82 名
いきいきプラザ	一般	9 種	12 回	141 名
	人材育成	15 種	15 回	206 名
その他の施設	一般	42 種	67 回	1,064 名
	計	125 種	154 回	2,092 名



地域活動者向け講座
「創って遊べるペーパークラフト」

(2) パソコンルーム事業

情報社会の利便性と社会参加のツールとして基礎的なパソコン操作の習得を目的に「まいにちパソコン体験講座」を実施しました。

実施日数	実人数	延べ人数
291 日	444 人	1,464 名

(3) フレイル予防健康づくり出前講座

市内の高齢者サロン等へ講師を派遣し、介護予防活動の普及啓発を図りました。

区 分	回 数	参加者数
フレイルチェック	14 回	213 名
栄養から介護予防	2 回	32 名
お口の健康と介護予防	2 回	31 名
かしわロコトレ!	4 回	54 名
体操やレクリエーションで楽しく介護予防	7 回	153 名
体のネジしめ体操	7 回	79 名
知って得する節約術!	4 回	69 名
計	40 回	631 名

(4) 介護予防グッズ貸出

市内の高齢者サロン等の団体に対して、介護予防グッズ（50品目）を貸出し、サロン等の運営支援を行いました。

種 類	延べ件数	延べ貸出品目数
50品目	106件	187品目

(5) 市民サポーター支援

① かしわフレイル予防サポーター

東京大学高齢社会総合研究機構が開発したフレイルチェック事業について、登録サポーターに関する従事者の調整をしました。

活動回数	延べ活動者数
57回	417名

② ウォーキングサポーター

ウォーキング活動の支援や、ウォーキングイベントを実施するサポーターの活動を支援しました。

活動回数	延べ活動者数
49回	141名

③ チームてんとう虫

推定歩行年齢がわかるロコモチェック（てんとう虫テスト）を実施するサポーターの活動を支援しました。

活動回数	延べ活動者数
6回	29名

(6) ほのぼのプラザますご利用状況

介護予防講座を含む「ほのぼのプラザますお」の利用者数は次のとおりです。

開館日数 292日 利用延人数 7,466人

内訳

区 分		日数・件数	人 数
くつろぎ館	まいにち体操	191日	1,951名
	そ の 他	292日	2,178名
ま な び 館		142件	2,085名
も の し り 館		26件	191名
ふ れ あ い 館		187件	1,061名
計			7,466名

※ 日数は利用日数、件数は講座・団体等の利用件数。

(7) フレイル予防ポイント交付事務

ほのぼのプラザますおの来館者に対してフレイル予防ポイントの交付を行ないました。

発行件数 71件

(8) コロナ禍における地域支援活動

① 紙面講座

サロン等地域活動者に対して訪問活動のツールとして活用する団体に対して紙面講座をお渡ししました。



	タイトル	発行日	R2年度 配付枚数	R3年度 配付枚数
1	川柳で今の思いを伝えよう	R2. 5. 28	2,577枚	17枚
2	活動不足解消 1分間トレーニング	6. 16	2,657枚	461枚
3	良質な睡眠を促す運動講座	6. 16	3,484枚	1,286枚
4	ヨガの呼吸と動きで免疫力アップ	6. 16	3,437枚	727枚
5	つつい出来ちゃう暇つぶしレクリエーション	7. 22	3,117枚	76枚
6	コグニサイズで認知症予防	9. 1	6,565枚	596枚
7	椅子を使ってかんたんストレッチ	10. 20	9,642枚	542枚
8	おうちやサロンで指体操をやってみよう	R3. 1. 15	3,231枚	750枚
9	座って楽しむゴムバンド体操	2. 5	975枚	811枚
10	笑顔と元気が出る体操	3. 22	610枚	2,238枚
11	栄養編 夏の暑さにまけないからだ	7. 20	-	1,957枚
12	タオルで！まいにち！ストレッチ！	8. 22	-	7,268枚
13	創って楽しいペーパークラフト	9. 20	-	977枚
14	椅子に座ってゆるやか筋トレ	10. 22	-	2,834枚
15	手と足の指体操	11. 22	-	2,778枚
16	すきま時間で脚の筋トレ	12. 10	-	3,638枚
17	民話を語ってみませんか	R4. 2. 1	-	1,291枚

② 動画配信

在宅での介護予防活動の啓発及び、新たな介護予防ツールの開発を目的にかしわ地域健康チャンネルを作成し、YouTubeによる配信を行いました。



インターネットで「かしわ地域まると健康ちゃんねる」と検索し、柏市社協ホームページからリンクで移動する。

	タイトル	講師 ※敬称略	時間	再生回数 (回)	
				R 2	R 3
1	スムーズに動けるからだづくり	本井傳 悟	52:12	252	287
2	川柳で今の思いを伝えよう	上鈴木 春枝	95:21	39	80
3	やさしいエアロビクス	佐々木 務代	15:05	294	419
4	元気をもらえるストレッチ&筋トレ		28:57	454	652
5	しっかりほぐして安心ヨガ①	西村 公美恵	35:51	67	117
6	しっかりほぐして安心ヨガ②		18:33	32	96
7	しっかりほぐして安心ヨガ③		23:08	31	58
8	コーヒーで楽しい絵手紙	安島 千枝子	28:20	136	203
9	声に出して読んでみよう枕草子	上鈴木 春枝	15:58	43	114
10	おうちやサロンで指体操をやってみよう	監修	10:49	195	385
11	座って楽しむゴムバンド体操	川崎 浩子	8:40	61	129
12	笑顔と元気になる体操 その1	長岡 智津子	2:42	184	429
13	笑顔と元気になる体操 その2		2:41	63	156
14	笑顔と元気になる体操 その3		2:39	24	119
15	スムーズに動ける7分ストレッチ①	本井傳 悟	7:44	-	207
16	スムーズに動ける6分ストレッチ②		6:17	-	81
17	スムーズに動ける5分ストレッチ③		4:55	-	70
18	スムーズに動ける9分ストレッチ④		9:24	-	55
19	ヒップホップでフレイル予防①	佐々木 務代	3:17	-	457
20	ヒップホップでフレイル予防②		2:50	-	247
21	ヒップホップでフレイル予防③		3:16	-	239
22	ヒップホップでフレイル予防④		3:24	-	309
23	タオルでまいにちストレッチ①	高橋 光江	5:36	-	313
24	タオルでまいにちストレッチ②		10:30	-	163
25	タオルでまいにちストレッチ③		10:32	-	138
26	タオルでまいにちストレッチ④		5:25	-	106
27	呼吸を整えゆったりヨガ①	中野 公美子	14:28	-	200
28	呼吸を整えゆったりヨガ②		13:28	-	96
29	呼吸を整えゆったりヨガ③		3:25	-	78
30	サロンで楽しく脳トレログニサイズ①	なばな会	3:38	-	188
31	サロンで楽しく脳トレログニサイズ②		5:32	-	97
32	サロンで楽しく脳トレログニサイズ③		6:09	-	85
33	サロンで楽しく脳トレログニサイズ④		5:48	-	77
34	サロンで楽しく脳トレログニサイズ⑤		5:56	-	59
35	サロンで楽しく脳トレログニサイズ⑥		1:53	-	64

36	民話を語ってみませんか①	渡辺 美代子	3:58	-	132
37	民話を語ってみませんか②		5:05	-	88
38	民話を語ってみませんか③		4:24	-	77
39	民話を語ってみませんか④		3:51	-	66
40	民話を語ってみませんか⑤		10:54	-	127
41	血流良くして老化予防①	金子 南代	11:04	-	127
42	血流良くして老化予防②		6:15	-	28
43	血流良くして老化予防③		5:31	-	22
44	血流良くして老化予防④		6:44	-	19

③ 動画 DVD の配付

週1回以上フレイル予防活動を実施する団体する団体に対して、「地域まるごと健康ちゃんねる」の動画 DVD を配付しました。

配付団体数	配付枚数
14 団体	27 枚

④ 動画 DVD の貸出 (ほのぼのプラザますお)

ほのぼのプラザますお来館者に「地域まるごと健康ちゃんねる」の動画 DVD を貸出し、住民主体で体操を実施しました。

貸出回数	延べ利用人数
352 回	1,205 人

⑤ その他

ア) いきいきマキコム特別号の発行

地域活動の知恵を共有するために、不定期で情報誌を発行しました。



	タイトル	発行日
1	柏オリジナルの YouTube 動画で健康づくり	R3. 12. 10
2	あなたが元気でいけば街も元気になる (最終号)	R4. 2. 10

イ) 地域包括支援センター等との連携

地域包括支援センターや地域いきいきセンターと連携してフレイル予防を目指した講座の展開を行い、ノウハウの共有および検証を図りました。

検証の結果として「地域包括支援センター等との連携による介護予防講座(報告書)」を作成しました。

	連携団体	会場	項目
1	沼南地域包括支援センター	大津ヶ丘殿山公園	ラジオ 体操
2	北柏地域包括支援センター	市営北柏住宅スペース	
3	沼南地域包括支援センター	藤ヶ谷ふれあい公園	
4	柏西口地域包括支援センター	豊四季台近隣センター	ウォー キング
5	柏南部地域包括支援センター	藤心近隣センター	
6	柏南部第二地域包括支援センター	ぶるーむカフェ	
7	南部地域いきいきセンター	南部近隣センター	
8	柏東口第二地域包括支援センター	富里近隣センター	屋内

9	柏北部第二地域包括支援センター	西原近隣センター	体操
10	柏北部第二地域包括支援センター	柏の葉公園センター	
11	柏北部地域包括支援センター	庚塚公民館	

ウ) 今年度センター事業をきっかけに立ち上がった自主活動グループ

	団体名	場所	内容	開催頻度
1	ゆるボッチャ会	加賀ふるさと会館	ボッチャの実施	月1回
2		大津ヶ丘殿山公園	ラジオ体操	週1回
3		大津ヶ丘商店街	ラジオ体操	週1回
4		北柏市営住宅	ラジオ体操	週1回
5		藤ヶ谷ふれあい公園	ラジオ体操	週1回
6	歩こう会	西口包括前(集合)	ウォーキング	週1回
7		藤心近隣センター(集合)	ウォーキング	月1回
8		ぶるーむカフェ前(集合)	ウォーキング	月1回
9		サンパセオ(集合)	ウォーキング	週1回
10		南部近隣センター(集合)	ウォーキング	週1回
11	リズムダンスの会	富里近隣センター	リズムダンス	月2回
12	柏の葉新緑会	柏の葉公園センター	ストレッチなど	月1回
13	チームてんとう虫		サロン等へ訪問して、フレイル予防プログラムを提供等	適時

2 老人福祉センターの介護予防事業等

指定管理

総務課

老人福祉センター3館[柏寿荘・南部・沼南]において、介護予防・世代間交流事業等を実施しました。[全49事業/延12,476名参加]

- ▶ 詳細は、老人福祉センター管理経営事業(80頁)に掲載

3 沼南地域包括支援センターの介護予防事業

市委託

相談支援課

介護予防普及啓発事業、地域活動組織への支援・出前講座等を実施しました。

[講座9回/延148名参加、支援・出前講座27回/延549名参加]

- ▶ 詳細は、沼南地域包括支援センター(74頁)に掲載

Ⅷ 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自 主	相談支援課
----------	---------------	-----	-------

(1) 相談事業

福祉相談窓口として、相談受付・自立支援を実施しました。

① 相談件数等

項 目	R1	R2	R3
合計相談件数	計 4,300 件	計 2,209 件	計 2,175 件
[手段] 来 所	1,212 件[28%]	732 件[33%]	876 件[40%]
電 話	2,956 件[69%]	1,459 件[66%]	1,228 件[57%]
訪 問 等	132 件[3%]	18 件[1%]	71 件[3%]
[状況] 新 規	898 件[21%]	919 件[42%]	699 件[32%]
継 続	2,439 件[57%]	1,000 件[45%]	904 件[42%]
再 来	448 件[10%]	233 件[10%]	390 件[18%]
調 整 等	515 件[12%]	57 件[3%]	182 件[8%]
[内容] 生計問題	2,656 件[62%]	1,647 件[75%]	1,230 件[57%]
(※) 生計以外	1,644 件[38%]	562 件[25%]	945 件[43%]

主な相談内容

生計問題	生活費、職業（失業）、教育、住宅、後見等
生計問題以外	家族、障害・高齢者福祉、母子父子・児童福祉・法律等

② 研修

相談技術向上を目的に、心配ごと相談員をはじめ、日常生活自立支援事業生活支援員、相談業務担当職員等を対象に、相談援助従事者研修会を行いました。

期 日	内 容	参加者
R3. 11. 13	コロナ禍におけるメンタルヘルスについて	14 名

(2) 心配ごと相談

心配ごと相談員（14名委嘱）を配置し、いきいきプラザは毎週水曜日、沼南社会福祉センターは毎週木曜日に心配ごと相談所を開設しました。またケース会議や研修会を開催し、相談技術の向上に努めました。

① 相談件数（開設日数／相談件数）

実施場所	R1	R2	R3
いきいきプラザ	47 日／42 件	23 日／40 件	48 日／50 件
沼南社会福祉センター	47 日／33 件	29 日／19 件	49 日／28 件
計	94 日／75 件	52 日／59 件	97 日／78 件

② 相談内容

内 容	R1	R2	R3
1 生 計	7 件	3 件	6 件
2 年 金	0 件	2 件	0 件
3 職業・生業	2 件	4 件	1 件
4 住 宅	2 件	4 件	2 件
5 家 族	17 件	17 件	21 件
6 結 婚	0 件	1 件	0 件
7 離 婚	1 件	2 件	5 件
8 健康・保健	7 件	13 件	3 件
9 医 療	6 件	5 件	8 件
10 人権・法律	1 件	2 件	2 件
11 財 産	7 件	3 件	3 件
12 事 故	0 件	1 件	0 件
13 児童・母子保健	0 件	0 件	0 件
14 教育・青少年	1 件	0 件	0 件
15 障 害 福 祉	1 件	0 件	1 件
16 母子・父子福祉	0 件	0 件	0 件
17 高齢者福祉	3 件	6 件	1 件
18 苦 情	2 件	3 件	5 件
19 そ の 他	27 件	12 件	28 件
計	84 件	78 件	86 件
[終了/継続/紹介]	[57 件/18 件/ 9 件]	[54 件/ 5 件/19 件]	[64 件/ 8 件/14 件]

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため①相談件数と一致しない

③ ケース会議、研修会等

期 日	内 容	参加者
R3. 5. 10	隣人とのトラブルについて	13 名
7. 12	社会福祉協議会との連携について	14 名
9. 13	身体障害者世帯の相談について	14 名
11. 17	家庭内のDV相談から	14 名
R4. 1. 17	自己否定型相談者への対応について	14 名
3. 7	2人での対応について	13 名

2 福祉資金貸付事業

自 主

相談支援課

低所得世帯で、他の施策による援助が困難な方へ貸付を実施しました。

また、過去5年間の滞納者に対する定期的な督促を実施するとともに、生活再建に係る相談支援を実施しました。

(1) 貸付種類及び件数及び金額

種 類	R1	R2	R3
一般貸付	632 件 10,318,440 円	656 件 11,519,826 円	669 件 11,104,682 円
特別貸付	4 件 380,000 円	11 件 815,000 円	5 件 345,000 円
交通費貸付	13 件 4,030 円	13 件 3,880 円	15 件 4,800 円
計	649 件 10,702,470 円	680 件 12,338,706 円	689 件 11,454,482 円

(2) 債権管理数（返済中又は長期滞納案件）

443 件 [内 一般貸付 383 件、特別貸付 11 件、交通費 49 件]

3 生活福祉資金貸付事業

県社協委託

相談支援課

(1) 生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金

種 類	R1	R2	R3
総合支援資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
福祉資金	5 件 3,242,900 円	0 件 0 円	0 件 0 円
[内訳]			
転宅費			
1 件 470,000 円			
障害者自動車購入費			
1 件 2,500,000 円			
福祉費			
3 件 272,900 円			
教育支援資金	26 件 31,194,200 円	33 件 44,611,400 円	35 件 43,311,900 円
緊急小口資金（通常）	38 件 3,860,000 円	43 件 4,220,000 円	38 件 3,625,500 円
臨時特例つなぎ資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
計	69 件 38,297,100 円	76 件 48,831,400 円	73 件 46,937,400 円

※令和元年度のみ緊急小口資金（通常）に（特例）貸付が含まれる [38 件中、特例貸付 6 件]

(2) 不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が 65 歳以上の世帯を対象とした、居住用不動産を担保とする生活資金貸付です。相談後の鑑定はありましたが、貸付には至りませんでした。

項 目	R1	R2	R3
事前鑑定	—	—	2 件
貸付件数	0 件	0 件	0 件
貸付限度額	0 円	0 円	0 円

(3) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の世帯で、貸付を受けなければ生活保護が必要となる世帯を対象とした、居住用不動産を担保として生活資金の貸付です。相談後の鑑定はありましたが、貸付には至りませんでした。

項目	R1	R2	R3
事前鑑定	—	—	8件
貸付件数	0件	0件	0件
貸付限度額	0円	0円	0円

(4) 緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付） ※令和2年3月25日より運用開始

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少した世帯を対象に、生活資金の貸付を行いました。

項目	R1	R2	R3
緊急小口資金 (特例)	6件 800,000円	2,226件 433,450,000円	878件 169,840,000円
総合支援資金 (特例)	0件 0円	1,778件 909,600,000円	794件 377,360,000円
総合支援資金 (特例) 延長	—	1,031件 538,530,000円	233件 119,890,000円
総合支援資金 (特例) 再貸付	—	233件 123,810,000円	1,154件 581,140,000円
計	6件 800,000円	5,268件 2,005,390,000円	3,059件 1,248,230,000円

※件数及び貸付額はともに決定したものとなる（申請中は除く）

(5) 債権管理数（返済中又は長期滞納案件）

554件 [内 福祉資金 21件、教育支援資金 236件、生活復興支援資金 1件、総合支援資金(通常) 137件、離職者支援資金 3件、緊急小口資金(通常) 136件、不動産担保型生活資金 3件、要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金 17件]

4 交通遺児援護金等支給

自主・事務協力

相談支援課

交通事故により、父または母を失った18歳未満の遺児のいる世帯に対し、援護金等を支給しました。

(1) 交通遺児援護金・高等学校入学支度金支給【自主】

種類	R1	R2	R3
援護金 [1名40,000円]	9世帯 9名 360,000円	5世帯 9名 360,000円	6世帯 10名 400,000円

支度金 [1名 50,000円]	2世帯 2名 100,000円	2世帯 2名 100,000円	1世帯 1名 50,000円
計	11世帯 11名 460,000円	7世帯 11名 460,000円	7世帯 11名 450,000円

(2) 交通遺児援護金勉学奨励金・激励金・見舞金【県社協事務協力】

種 類	R1	R2	R3
勉学奨励金 [1名 30,000円]	3世帯 3名 90,000円	1世帯 1名 30,000円	0世帯 0名 0円
激 励 金 [1名 60,000円]	3世帯 3名 180,000円	1世帯 2名 120,000円	6世帯 6名 360,000円
見 舞 金 [1名 100,000円] 2人目からは50,000円	1世帯 2名 150,000円	2世帯 5名 350,000円	0世帯 0名 0円
受験費用助成金	2世帯 2名 124,400円	1世帯 2名 138,800円	1世帯 1名 35,000円
計	9世帯 10名 544,400円	5世帯 10名 638,800円	7世帯 7名 395,000円

※受験生1名あたりの助成額上限[高校等受験：50,000円、大学等受験：100,000円]

5 緊急援護金支給事業

自 主 相談支援課

(1) 援護金・食糧の支給

既に貸付制度を利用し、また他の制度にも該当しない世帯で、やむを得ない事情により金銭的な支援が必要な場合に援護金、食糧（米、缶詰、レトルトカレー、カップ麺等）を支給しました。

種 類	R1	R2	R3
緊急援護金	6世帯 235,000円	2世帯 170,000円	3世帯 205,000円
食糧支援	—	—	34世帯
計	6世帯 235,000円	2世帯 170,000円	37世帯 205,000円

(2) ランドセルの配付

小学校入学に伴いランドセル準備が難しい生活困窮世帯へ右記の機関を通じて配付しました。

配 付 先	配付個数
柏市こども福祉課	10個
柏市生活支援課等	13個

6 若者自立支援活動団体の支援

自主

相談支援課

若者の自立を支援する団体との相互理解を深めるとともに、連携・協力体制の充実と定着を図ること、継続的な活動展開に対する支援をすることを目的として、若者自立支援サポーター連絡会の開催、活動助成金の交付をしました。

(1) 若者自立支援サポーター連絡会

期 日	主な内容	参加者
R3. 10. 6	意見交換、研修内容検討	5名
R4. 3. 17	研修「より良い活動に向けた組織運営や活動のコツを学ぶ」	4名

(2) 団体助成金

若者の居場所活動助成金	R1	R2	R3
助 成 金 総 額	400,000 円	300,000 円	166,007 円
団 体 数	2 団体	2 団体	2 団体

7 自殺予防対策事業【かしわお元気コール事業】

自主・市補助

地域福祉課

孤立しがちな高齢者等を対象に、電話声かけボランティアによる声かけを実施しました。

(1) 電話声かけボランティア養成講座・ボランティア交流会

項 目	R1	R2	R3
養 成 講 座	2 回 14 名	1 回 12 名	11 回 16 名
交 流 会	4 回 27 名	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	6 回 65 名

※養成講座実施回数：個人及び集団向けの合計。交流会実施回数：各拠点及び全体の合計。

(2) 利用登録者数

実施場所	R1	R2	R3
風早北部地域	9 名	8 名	7 名
松 葉 地 域	6 名	6 名	6 名
風早南部地域	8 名	6 名	7 名
光ヶ丘地域	13 名	10 名	10 名
豊四季台地域	2 名	4 名	1 名

富勢地域	2名	8名	6名
田中地域	2名	6名	7名
南部地域	—	9名	15名
新富地域	—	—	2名
計	42名	59名	61名

※休止中の利用者は除いた登録者数(年度末実績)

(3) 電話声かけボランティア登録数

実施場所	R1	R2	R3
風早北部地域	14名	14名	10名
松葉地域	10名	10名	11名
風早南部地域	12名	11名	11名
光ヶ丘地域	12名	18名	11名
豊四季台地域	11名	11名	9名
富勢地域	8名	6名	7名
田中地域	12名	12名	9名
南部地域	—	7名	9名
新富地域	—	—	4名
計	79名	89名	81名

※登録数には、複数拠点で重複して登録している8名を含む [登録実人数：73名]

※休止中のボランティアは除いた登録者数(年度末実績)

(4) 活動日数／延電話件数

実施場所	R1	R2	R3
風早北部地域	49日／457件	50日／457件	49日／337件
松葉地域	49日／302件	50日／302件	49日／245件
風早南部地域	50日／388件	50日／388件	48日／287件
光ヶ丘地域	50日／557件	49日／557件	49日／481件
豊四季台地域	50日／105件	47日／105件	50日／86件
富勢地域	49日／127件	50日／127件	49日／284件
田中地域	8日／19件	50日／19件	48日／295件
南部地域	—	36日／187件	50日／588件
新富地域	—	—	25日／49件
計	305日／1,955件	382日／2,117件	417日／2,652件

(5) 安否確認訪問回数

ボランティアによる電話声かけ時に不通だった場合、職員による安否確認のための訪問を実施しました。また、訪問により、早期の医療受診につなげたり、必要に応じた関係機関との連携・調整などを行いました。

実施場所	R1	R2	R3
風早北部地域	11回	2回	1回
松葉地域	1回	1回	0回
風早南部地域	6回	2回	0回
光ヶ丘地域	6回	6回	8回
豊四季台地域	0回	0回	0回
富勢地域	1回	0回	4回
田中地域	0回	1回	4回
南部地域	—	1回	4回
新富地域	—	—	0回
計	25回	15回	21回

(6) その他の取り組み

お元気コール利用者の少ないエリアを対象として、新たに周知ポスターを作成、図書館やコンビニエンスストア等の近隣施設や福祉・医療機関、地域関係機関等の協力を得て、ポスター掲示や配布による事業の周知に取り組みました。また、新規ボランティア募集の一つとして、ボランティアセンターや地域活動ガイダンス等、他担当との連携を図り、新たな人材発掘に取り組みました。

8

障害者の就労支援

自主

総務課

障害者の就労支援を推進するため、LITALICO（りたりこ）ワークス柏と連携し、職場体験や実習の受入れを実施しました。

項目	R1	R2	R3
日数	11日	7日	14日
実人数	15名	13名	28名
延人数	19名	23名	65名

職場体験・実習内容

各種情報誌・通知文等の封入

IX 権利擁護・地域包括支援センター

1 成年後見利用促進（中核機関）事業

市委託

相談支援課

成年後見制度利用促進基本計画に基づき、一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）や司法・福祉専門職等と連携して、地域連携ネットワークを構築し、成年後見制度の利用促進を図りました。

(1) 広報・啓発

① チラシ・パンフレット等の配布及び紙・電子媒体による普及啓発

- ・紙ひこうき 5/1 号、広報かしわ 6/1 号、柏市社協HPに中核機関の情報を掲載
- ・「成年後見制度ご利用・ご検討中の方へ」（チラシ）、「かしわ福祉権利擁護センターパンフレット」を作成。近隣センター・金融機関など、106か所に配架。
- ・モラージュ柏の敬老イベントに参加し、掲示物の展示や啓発品300個を配布
- ・市内の金融機関（ゆうちょ銀行を除く）38店舗への訪問や電話による、チラシ配架の依頼、金融機関における対応や課題等の聞き取りを行いました。

② 出前講座の実施

一次相談機関からの依頼で、市民を対象に出前講座を実施しました。

項目	R1	R2	R3
件数等	8件 177名 [内訳] 福祉団体 7件 その他 1件	2件 20名 [内訳] 福祉団体 2件	7件 108名 [内訳] 一次相談機関 7件

※中核機関の設置に伴い、令和3年度から出前講座は、成年後見事業から中核機関に移行しました。

③ 各種講座の開催

司法・福祉専門職・親族後見人を対象に、研修を実施しました。

期日	内容	参加者
R3. 8.30	福祉専門職向け研修 成年後見制度の基礎知識及び支援事例 ※会場とZoomのハイブリッド方式で開催 (会場：6名 オンライン：60名)	66名
12.2	専門職後見人向け研修 介護保険制度及びケアマネと後見人の連携 ※Zoom開催 (弁護士：3名 司法書士：2名 社会福祉士：3名 行政書士：10名 税理士：2名)	20名
R4. 2.18	親族後見人向け研修 親族後見事務の基本 ※講師のみZoomで参加し、事務所より配信 ※親族後見人を希望する方の参加も含む	19名

④ 一次相談機関連携会議

一次相談機関職員の相談対応やアセスメント技術向上を目的に、研修及び情報交換等を行いました。また、全一次相談機関へ訪問し、成年後見制度に関する相談体制の現状や課題等を共有しました。

期 日	内 容	参加者
R3. 4. 15	成年後見制度利用促進基本計画及び中核機関設置までの経緯 一次相談機関と中核機関の役割・連携	17名
11. 26	成年後見制度相談対応のポイント（講義） 成年後見制度相談対応ロールプレイ ※密を避けるため、定員を減らし午前午後に分けて実施	18名
R4. 3. 15	市長申立ての流れ及び報酬助成（講義） 成功事例に学ぶ成年後見制度（2事例紹介） ※Zoom開催	21名

(2) 相談

① 相談件数

項 目	R1	R2	R3
相談件数	242件 [内訳] 高齢 155件 知的 20件 精神 25件 その他 42件	239件 [内訳] 高齢 128件 知的 19件 精神 34件 その他 58件	253件 [内訳] 高齢 172件 知的 21件 精神 27件 その他 33件

※中核機関の設置に伴い、令和3年度から相談事業は、成年後見事業から中核機関に移行しました。

② 相談内訳

内 容	—	—	R3
成年後見全般	—	—	125件
申 立 て	—	—	121件
候 補 者 選 定	—	—	11件
そ の 他	—	—	54件
合 計	—	—	311件

※1人が複数の相談をすることもあり、相談件数の合計と内容の合計は一致しません。

③ 成年後見無料相談会

リーガルサポート千葉県支部柏地区との協働により、司法書士による無料相談会を開催しました。

日時/場所	R3. 11. 6/介護予防センターいきいきプラザ
参加者	9組10人

(3) 利用促進

令和3年6月から毎月1回、市長申立の候補者選定、一次相談機関が対応したケース検討等を目的に候補者調整会議を開催しました。

項目	—	—	R3
開催数	—	—	8回
件数等	—	—	候補者調整 18件 ケース検討 2件

(4) 後見人等支援

市内の後見人からの相談等に対応しました。

項目	—	—	R3
件数等	—	—	モニタリング 0件 後見人支援 3件

(5) 協議会部会運営

柏市権利擁護ネットワーク会議成年後見制度に関する専門部会を開催しました。

期 日	内 容
R3. 7. 13	中核機関の設置 中核機関の業務内容 第1回成年後見人等候補者調整会議の結果及び一次相談機関訪問結果 成年後見制度及び中核機関の普及啓発
10. 22	令和3年度上半期事業報告 令和4年度事業計画 相談対応マニュアルの作成 モニタリングの実施方法

2 成年後見事業

自主・市補助

相談支援課

法人として成年後見人業務、並びに私の望みノートを使用した意思決定支援業務などを実施しました。

(1) 法人後見業務

① 受任調整会議

項目	R1	R2	R3
開催回数	6回	5回	1回
審査件数	8件	7件	1件

② 後見人受任件数

項目	R1	R2	R3
受任件数	20件	14件	15件

新規件数	7 件	5 件	4 件
	[内訳]	[内訳]	[内訳]
	高齢者 7 件	高齢者 5 件	高齢者 4 件
	障害者 0 件	障害者 0 件	障害者 0 件
終了件数	3 件	11 件	3 件

※終了件数は、被後見人の死亡又は後見人辞任（市民後見人へ引き継ぎ）によるものです。

(2) 後見支援員に対する取り組み

① 後見支援員活動（本会が行う後見業務での活動）

後見支援員（第1～3期市民後見人養成講座修了生）29名のうち12名が法人後見業務の事務執行者として、延べ107回の被後見人居所訪問や各種手続き等の後見業務を実施しました。また、終活応援ルーム「望」の相談員として16名が延べ35回、活動しました。

※終活応援ルーム「望」の取り組みについては、70頁(5)にて記載。

② 後見支援員登録者研修

期 日	内 容	参加者
R3. 5.31	令和3年度の職員紹介 後見支援担当と成年後見利用促進担当の事業説明 成年後見人受任後の流れと死亡時のマニュアル 第4期市民後見人養成研修の開催 終活応援ルーム「望」 支援員の紹介と担当ケース	23名
12.10	法人後見受任者のケースについて（2ケース紹介）	19名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各研修を2回に分けて、同じ内容を実施しました。

(3) 後見監督人業務

① 監督件数

項 目	R1	R2	R3
受任件数	6 件	6 件	5 件
新規件数	3 件	4 件	1 件
	[内訳]	[内訳]	[内訳]
	法人から 2 件 市長申立 1 件	法人から 2 件 市長申立 2 件	法人から 0 件 市長申立 1 件
終了件数	1 件	4 件	2 件

※内訳の「法人から」は、本会が法人後見人を辞任した後に市民後見人へ引き継いだもの

② 定期面接実施回数（市民後見人定期報告）

6人延60回

※令和4年1月から、来所での定期面接の回数を変更（後見人等経験年数1年未満は毎月、1年以上2年未満は2か月に1回、2年以上は3か月に1回）。また、来所しない月は、メール及び郵送で資料を受領後、電話で面接を実施しました。

(4) かしわ福祉権利擁護センター運営委員会

期 日	内 容
R3. 7. 13	令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画・組織体制 中核機関の設置 市民後見人への監督人業務 意思決定支援のあり方と今後
10. 22	令和3年度上半期事業報告 令和4年度事業計画について 運営委員のコロナ禍時の状況、コロナ後の新たな取り組み等

(5) 意思決定支援事業「わたしの望みノート」

① 「わたしの望みノート」本編及び体験版の配布

「わたしの望みノート」本編（改訂版）に加え、普及啓発や本編導入を目的とした体験版を配布しました。[本編2,000部増刷]

② 出前講座

ふれあいサロンや一般市民を対象に、「わたしの望みノート」の記入体験を通し、ノート活用のポイントや介護・医療・相続等について考える出前講座を実施しました。

期 日	内 容	参加者
R3. 7. 8	柏北部第2地域包括支援センター主催 「わたしの望みノートの紹介」	14名
7. 17	柏北部地域包括支援センター主催（ZOOM参加有） 「わたしの望みノートの紹介と在宅医療について」	30名
10. 13	光ヶ丘地域包括支援センター主催 「わたしの望みノートの紹介と成年後見制度について」	11名
11. 9	松葉町地域ふるさと協議会主催 「わたしの望みノートの紹介」	9名
R4. 2. 3	柏市新田原地域ふるさと協議会主催 「遺言・相続などの終活講座とわたしの望みノートの紹介」	23名
2. 28	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	12名
3. 3	柏市社会福祉協議会主催市民向け講座 「母の介護の体験談とわたしの望みノートについて」	7名

(6) 終活応援ルーム「望」の実施

成年後見制度及びわたしの望みノートの普及啓発と利用促進を目的に、終活応援

ルーム「望」（毎月第1・第2・第3木曜日）を南部地域いきいきセンターで実施しました。

項目	R1	R2	R3
開催回数	—	16回	35回
相談件数	—	2件	13件

3 柏市市民後見人推進事業

市委託

相談支援課

(1) 第4期市民後見人養成研修の実施

① 市民後見人養成研修（座学）

親族や専門職後見人の不足が予測される中で、新たな担い手としての市民後見人を養成する研修を全12回にわたり開催しました。

期間/回数	令和3年7月1日～令和4年3月17日 木曜日開催／全12回 (修了式含む)
内容	市民後見概論、成年後見概論、対象者の理解、対人援助の基礎、成年後見制度と市町村責任、関係制度・法律、地域福祉・権利擁護の理念、成年後見の実務、後見人活動の実際、専門職の理解、家庭裁判所の役割、地域包括支援センターの役割、民法の基礎、市民後見人の心構え、振り返り
受講者数	12名（うち1名は令和4年度修了予定）

② 現任訓練

市民後見人養成研修受講者（後見支援補助員）が2人1組となり、職員とともに成年被後見人等を担当し、月1回程度の同行訪問や後見事務等を実施しながら市民後見人として必要な実務経験を重ねました。

補助員数	活動回数	活動内容
12名	74回	本人居所訪問、銀行手続き（預貯金の引出しや利用料支払い）、各種行政手続き（福祉手当等）、事務報告書の作成等（演習）

※活動回数は、後見支援補助員の延べ活動数の合計

(2) フォローアップ研修の実施

① 市民後見人候補者名簿登録者フォローアップ研修

市民後見人候補者名簿登録者（第1～3期市民後見人養成講座修了者）を対象に、必要な知識等の学習機会及び交流の場の提供を目的に実施しました。

[市民後見人候補者名簿登録者数：28名]

期日	内容	参加者
R3. 9. 21	令和2年度の活動報告と令和3年度の組織体制について 後見支援補助員・後見支援員・市民後見人に対する社協	19名

	の役割 市民後見人活動報告 各種申請や手続きについて	
R4. 3. 4	後見人業務について	21名

② 市民後見人交流会

市民後見人活動経験者や活動予定者のスキルアップ及び交流の場の提供を目的に実施しました。 [市民後見人経験者9名、活動予定者1名]

期 日	内 容	参加者
R3. 8. 4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
R4. 3. 4	意思決定支援研修（動画視聴） 意見交換	7名

(3) 市民対象の普及啓発研修の開催

一般市民を対象に、成年後見制度や関連制度及び市民後見人活動の普及啓発を目的とする研修会を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R3. 12. 3	成年後見制度と後見人活動の実際について	14名
R4. 3. 2	成年後見制度と柏市における市民後見人養成研修について	9名

4 福祉サービス利用援助事業

県社協委託・市補助

相談支援課

判断能力が十分でないために適切なサービスの提供を受けられない方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、財産管理、財産保全サービスを実施しました。

(1) 相談件数

項 目	R1	R2	R3
合計相談件数	173件	156件	151件
[相談者] 本 人	3件	8件	8件
家族親類	7件	6件	7件
※その他	163件	142件	136件
[対象者] 高 齢 者	114件	102件	106件
知的障害者	6件	6件	3件
精神障害者	28件	34件	22件
そ の 他	25件	14件	20件

※その他は介護支援専門員、地域包括支援センター、行政等専門機関、友人等を含む

※エリア別件数 [北部:40件 中央:60件 南部:23件 東部:15件 その他:13件]

(2) 訪問調査件数

件数等	R1	R2	R3
実件数	151件	119件	156件
延訪問調査回数	189回	160回	265回

(3) 契約件数及び支援回数

件数	R1	R2	R3
年度内新規契約件数	18件	25件	36件
年度内解約件数	29件	27件	28件
年度末契約件数	112件	110件	118件

※年度内新規契約件数 36 件 [内 生活保護受給世帯 18 件]

※年度内解約理由 28 件 [内 死亡 10 件、後見人等就任 9 件、本人意思 5 件、家族管理 2 件、転居（移管） 2 件]

※支援回数 1,597 件 [内 専門員 884 件、生活支援員 713 件]

(4) 生活支援員研修会

生活支援員の資質向上を目的に開催しました。

期 日	内 容	参加者
R3. 5. 18	高次脳機能障害に関する症状および接し方や対応方法 講師 旭神経内科リハビリテーション病院 作業療法士 賀曾利 裕 氏	16 名
11. 17	地域包括支援センターおよびケアマネジャーの役割 講師 柏南部地域包括支援センター 所長 神津 南 氏	17 名
R4. 3. 25	書類の正しい書き方とそれに伴う支援手順の再確認および意見交換	13 名

(5) 千葉県運営適正化委員会による福祉サービス利用援助事業現地調査

社会福祉法第 8 4 条及び千葉県運営適正化委員会が定める「福祉サービス利用援助事業に関する運営監視事業実施要綱」に基づき、令和 3 年 1 0 月 1 4 日に現地調査を実施。調査結果は、概ね適正であるとの評価を受けました。

沼南圏域を担当し、高齢者の総合相談・権利擁護、介護予防プラン作成、地域の介護予防活動支援、介護支援専門員の支援を実施しました。また、認知症の方や介護者への支援として認知症カフェの設置や家族会への支援、地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり等を行いました。

(1) 普及啓発

地区社協、民生委員児童委員などの集まりで地域包括支援センターの普及啓発を実施しました。

(2) 総合相談

① 沼南地域包括支援センター（沼南社会福祉センター内）

項目	R1	R2	R3
介護予防等の相談支援、 一般介護予防事業、フレイル予防など	15件 [内新規 13件]	6件 [内新規 6件]	5件 [内新規 5件]
介護予防ケアマネジメント、 総合事業	312件 [内新規 270件]	112件 [内新規 112件]	129件 [内新規 128件]
権利擁護[虐待・成年後見等]	75件 [内新規 57件]	47件 [内新規 47件]	71件 [内新規 70件]
包括的・継続的ケアマネジメント	126件 [内新規 107件]	82件 [内新規 82件]	98件 [内新規 96件]
認知症に関する相談	110件 [内新規 88件]	81件 [内新規 81件]	80件 [内新規 80件]
介護保険、福祉制度・サービス	976件 [内新規 725件]	519件 [内新規 501件]	561件 [内新規 548件]
在宅医療・介護連携推進 [新規]	34件 [内新規 33件]	21件 [内新規 21件]	12件 [内新規 12件]
生活体制整備 [新規]	28件 [内新規 28件]	14件 [内新規 14件]	5件 [内新規 5件]
その他	322件 [内新規 230件]	224件 [内新規 217件]	140件 [内新規 140件]
介護者の離職防止に関する相談 [新規]	—	2件 [内新規 2件]	1件 [内新規 1件]
計	1,998件 [内新規 1,551件]	1,108件 [内新規 1,083件]	1,102件 [内新規 1,085件]

※令和元年度より、集計方法を変更

② 沼南地域包括支援センター高柳相談窓口（ヤオコー柏高柳駅前店3階）

項目	R1	R2(6月開設)	R3
介護予防等の相談支援、 一般介護予防事業、フレイル予防など	—	8件 [内新規 8件]	8件 [内新規 8件]
介護予防ケアマネジメント、 総合事業	—	35件 [内新規 35件]	46件 [内新規 46件]

権利擁護[虐待・成年後見等]	—	14件 [内新規 14件]	25件 [内新規 25件]
包括的・継続的ケアマネジメント	—	6件 [内新規 6件]	11件 [内新規 11件]
認知症に関する相談	—	66件 [内新規 64件]	44件 [内新規 44件]
介護保険、福祉制度・サービス	—	267件 [内新規 248件]	292件 [内新規 287件]
在宅医療・介護連携推進 [新規]	—	5件 [内新規 4件]	7件 [内新規 7件]
生活体制整備 [新規]	—	5件 [内新規 5件]	8件 [内新規 8件]
その他	—	99件 [内新規 96件]	85件 [内新規 85件]
介護者の離職防止に関する相談 [新規]	—	0件 [内新規 0件]	0件 [内新規 0件]
計	—	505件 [内新規 480件]	526件 [内新規 521件]

(3) 権利擁護業務

成年後見制度、消費者被害及び高齢者虐待に関する相談へ対応しました。また、権利擁護の普及啓発のため、理解度や関心度に応じ3段階の市民向け講座を開催。コロナ禍での安心安全な講座参加に配慮し、会場とオンラインでの同時開催をしました。

項目	R1	R2	R3
高齢者虐待への対応	3件	7件	8件
措置による老人福祉施設入所調整	1件	1件	1件
成年後見制度市長申立相談支援	3件	0件	1件
計	7件	8件	10件

(4) 地域ケア会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域包括ケアシステム構築に向け、個別ケースについてテーマを絞って生活課題の解決、地域の現状把握等を検討しました。

項目	R1	R2	R3
開催数	4回	4回	3回

主な内容

R3. 11. 9	[テーマ] 徘徊と見守りについて①
11. 16	[テーマ] 徘徊と見守りについて②
R4. 2. 25	[テーマ] 徘徊と見守りについて③

(5) 沼南地域ケア推進会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域ケア会議を通して見えてきた地域課題を報告

し、地域課題の解決のために関係機関が包括と連携してできること、施策として提案すべきことを検討しました。 ※仕様書による回数及び名称変更

項目	R1	R2	R3
開催数	未開催	1回	1回
主な内容			
R4. 3.24	[テーマ] 徘徊高齢者でも安心してらせるまち		

(6) 包括ケア地区別研修

介護支援専門員に向け、支援方法や社会資源に関する学習・研修を実施しました。

項目	R1	R2	R3
開催数	6回	2回	2回
主な内容			
R3. 7.16	[テーマ] コロナ禍におけるケアマネジメントと地域連携		
R4. 3.14	[テーマ] 高齢になる障害者の支援と居宅介護支援事業所の連携について		

(7) 事例検討会

介護支援専門員を中心に事例を振り返り実践力の強化を行いました。

項目	R1	R2	R3
開催数	1回	1回	1回
延参加者数	13名	20名	20名
主な内容			
R3. 12.13	[テーマ] 個別の事例を通じて虐待の対応を学ぶ		

(8) 介護予防普及啓発事業

市民へ介護予防の必要性について理解が得られるよう講座等を実施しました。

項目	R1	R2	R3
開催数	9回	3回	9回
延参加者数	164名	34名	148名
主な内容			
沼南フレイルチェック講座、ラジオ体操講座（ほのぼのますおと共催）			

(9) 介護予防等における地域活動組織への支援、出前講座

項目	R1	R2	R3
実施回数	100回	15回	27回
延参加者数	2,675名	180名	549名
主な内容			
運動機能向上（ラジオ体操・かしわロコトレ）、消費者被害、包括業務紹介等			

(10) 認知症に関する相談

認知症相談会の開催と「認知症家族の会～沼南ひまわりの会」の相談支援を行いました。

項目	R1	R2	R3
実施回数	11回	6回	9回
参加人数	85名	43名	60名

(11) 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄り、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所として開催しています。感染症対策の下、飲食無しで実施し、家族相談会と同時開催で行いました。

項目	R1	R2	R3
実施回数	26回	7回	9回
参加人数	192名	34名	60名

(12) オレンジフレンズ交流会

オレンジフレンズ（認知症サポーター講座を受講後、協力者として登録してくれた方）に向け、活動の主旨の理解と活動へとつながるよう情報提供を行いました。

項目	R1	R2	R3
実施回数	1回	1回	1回
参加人数	26名	27名	26名

(13) 介護支援専門員と地域活動ボランティアの交流会

項目	R1	R2	R3
実施回数	1回	—	—
参加人数	30名	—	—

※令和元年度は、風早北部地区による「支えあい会議」により開催。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い未開催。

(14) 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい理解のための普及啓発活動を行いました。

項目	R1	R2	R3
実施回数	27回	19回	29回
延参加者数	720名	465名	751名

※沼南高柳高校、沼南高校、高柳小、高柳西小学校、大津第二小、手賀西小学校、大津ヶ丘中学校、大津ヶ丘3-1町会、社会福祉士実習生、柏市社協等で実施

(15) 徘徊模擬訓練

市民、関係者に対して認知症の理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう実施しました。

項目	R1	R2	R3
実施回数	1回	—	1回
延参加者数	40名	—	16名

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い未実施。令和3年度は大津ヶ丘3-1町内会で実施。

(16) 指定介護予防支援事業

要支援1、2、事業対象者のケアプラン作成を行いました。

件数	R1	R2	R3
要支援ケアプラン作成請求件数 (介護予防ケアマネジメント含む)	888件 [内新規 30件]	1,272件 [内新規 35件]	1,640件 [内新規 64件]
要支援ケアプラン作成委託件数 (介護予防ケアマネジメント含む)	2,922件 [内新規 74件]	2,748件 [内新規 77件]	2,590件 [内新規 62件]

(17) 「お元気応援マップ」の改訂

地区ごとの介護予防に関する新たな情報を収集し、「お元気応援マップ」を改訂しました。今回はフレイル予防ポイント対象事業についても案内を掲載しました。

地域の高齢者や福祉活動希望者が身近な場所で介護予防の活動に取り組めるよう、窓口での配布や、サロンや利用者宅への訪問時の情報提供資料として活用しました。なお、地区社協、民生委員、介護支援専門員にも随時配布し、広く周知しました。

X 施設管理

1 沼南社会福祉センター設置経営事業

自主・市補助

総務課

こどもから高齢者、ボランティア等が利用する沼南社会福祉センターの管理運営を行いました。施設の経年による改良修繕として照明のLED化を令和2年度から進めています。

(1) 利用状況

レクリエーション室・調理実習室・研修室・会議室の貸出(有料)を行いました。

項 目	R1	R2	R3
レクリエーション室	185 件 1,968 名	96 件 778 名	107 件 909 名
調 理 実 習 室	60 件 905 名	3 件 25 名	14 件 140 名
臨時ボランティア活動室	106 件 1,181 名	65 件 431 名	— —
ボランティア活動室	313 件 2,846 名	215 件 1,483 名	273 件 1,819 名
会 議 室	404 件 5,195 名	290 件 2,560 名	224 件 3,030 名
録音室(視聴覚室)	107 件 319 名	82 件 158 名	72 件 126 名
計	1,175 件 12,414 名	751 件 5,435 名	690 件 6,024 件

(2) 照明のLEDへの改修

令和3年度は2階はぐはぐひろば・トイレ等(廊下部以外)の照明102基を改修しました。

(3階と2階はLED化改修完了)

2 介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業

市委託

総務課

介護予防センターいきいきプラザの管理運営を行いました。

項 目	R1	R2	R3
研 修 室	8,200 名	3,954 名	3,182 名
会 議 室	2,320 名	1,985 名	919 名
デイサービス室	—	4 名	409 名
計	10,520 名	5,943 名	4,510 名

3施設の管理・経営を受託。経営方針として、健康づくりと介護予防の支援、いきがいと仲間づくりの支援、高齢者の主体的な活動の支援を掲げ、事業を展開しました。

(1) 指定管理期間

項目	期間
柏 寿 荘	R 3. 4. 1 ~ R 5. 3. 31
南部老人福祉センター	R 3. 4. 1 ~ R 8. 3. 31
沼南老人福祉センター	R 3. 4. 1 ~ R 8. 3. 31

(2) 利用状況

項目	R1	R2	R3
柏 寿 荘	24,773名	7,116名	14,078名
南部老人福祉センター	57,742名	12,082名	29,327名
沼南老人福祉センター	37,307名	6,887名	24,570名
計	119,822名	26,085名	67,975名

(3) 介護予防・世代間交流事業

項目	R1	R2	R3
柏 寿 荘	20事業 5,702名	10事業 1,478名	19事業 2,767名
南部老人福祉センター	25事業 7,409名	9事業 1,258名	15事業 4,206名
沼南老人福祉センター	23事業 5,082名	10事業 612名	15事業 5,503名
計	68事業 18,193名	29事業 3,348名	49事業 12,476名

主な講座内容

- [柏 寿 荘] フレイルチェック講座、介護支援センターとは、認知症。私たちに出来ること、歌謡曲で体操しよう、スマイル講座、自彊術、インナーマッスル、ラジオ体操、避難・消火訓練、交通安全教室、防災訓練、編み物教室、ビリヤード教室※、おりがみ講座※、囲碁入門講座、陶芸入門講座、夏ボラ受け入れ、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、看護学生実習受入、柏寿荘まつり※
- [南部老人] てんとう虫テスト、フレイルチェック、ロコモ体操、歌謡曲で体操しよう、簡単ストレッチ教室、賢い病院のかかり方、老後の住まい施設を学ぶ、紫式部日記、楽しい折り紙、陶芸入門講座、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、詐欺被害防止DVD上映、かたくりまつり※、看護学生実習受入
- [沼南老人] フレイルチェック講座、ラジオ体操、やさしいヨガ教室、うで自慢・のど自慢※、みんなで盆踊り※、交通安全教室、医療講座※、防災訓練、生活情報講座※、編み物教室、はがき絵教室、将

棋大会※、囲碁大会、風早南部小学校陶芸教室※、夏ボラのすすめ※、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、詐欺被害防止DVD上映、いこい荘まつり※、看護学生実習受入、七宝焼教室

※年度当初予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止、大雪等のため中止

(4) 相談事業

高齢者の健康増進のため、健康相談を月2回、栄養相談を月1回実施しました。

項目 施設	健康相談			栄養相談		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3
柏 寿 荘	251名	109名	214名	99名	50名	82名
南部老人福祉センター	284名	140名	240名	133名	75名	145名
沼南老人福祉センター	260名	105名	289名	134名	72名	169名
計	795名	354名	743名	366名	197名	396名

[参考] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1	役員（理事・監事）名簿	R4. 3.31 現在
----------	--------------------	-------------

▶ 理事

選出区分	氏 名	所属等
柏市民生委員児童委員協議会の代表	山 名 恵 子	柏市民生委員児童委員協議会会長
福祉活動団体又は当事者団体の代表	平 山 隆	社会福祉法人彩会理事長
社会福祉法人又は施設を経営する者	吉 野 一 實	柏市老人福祉施設連絡協議会会長
	鈴 木 徹 生	柏市私立認可保育園協議会おお田保育園園長
地域住民組織の代表	阿 部 孝	柏市ふるさと協議会連合会会長
地域組織及び地域の経済団体の代表	長 瀬 慈 村	一般社団法人柏市医師会会長
	鈴 木 崇 弘	公益社団法人柏青年会議所理事長
行政及び教育関係機関	高 橋 裕 之	柏市保健福祉部部長
	藤 崎 英 明	柏市教育委員会学校教育部児童生徒課課長
社会福祉事業経営又は学識経験者	吉 江 悟	一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事
	大 野 正 英	麗澤大学経済学部教授
	中 川 博	社会福祉法人柏市社会福祉協議会会長
	秋 谷 正	元柏市保健福祉部次長兼高齢者支援課長

[会長・副会長・常務理事]

役 職	氏 名	当該役職の在任期間
会長	中 川 博	R 1. 6.24～
副会長	平 山 隆	R 3. 6.24～
副会長	吉 野 一 實	R 1. 6.24～
常務理事	秋 谷 正	R 3. 6.24～

▶ 監事

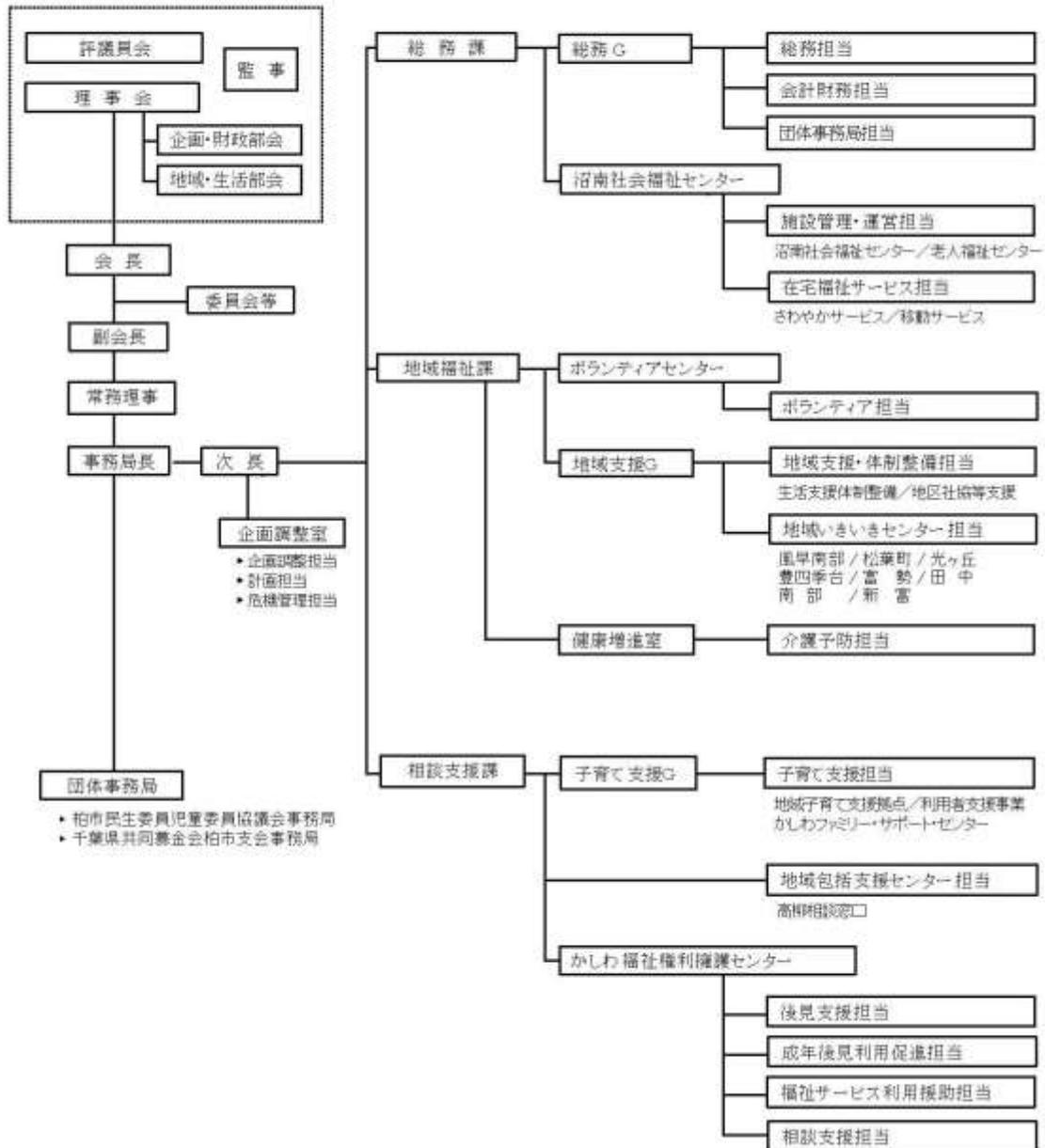
氏 名	現 職
佐 藤 勝 美	社会福祉法人沼風会理事
長谷川 秀 夫	司法書士

※役員（理事・監事）任期：令和3年6月24日から令和5年度定時評議員会終結時まで

選出区分	氏名	所属等	
柏市民健康づくり推進員連絡協議会 福祉活動団体又は当事者団体	平野 準子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長	
	二瓶 幸志	柏市シニアクラブ連合会会長	
	中野 しのぶ	柏市手をつなぐ育成会会長	
社会福祉法人又は施設を経営する団体 地域住民組織	横尾 好永	柏市介護サービス事業者協議会会長	
	金本 元章	柏市柏の葉地域ふるさと協議会副会長	
	間 渕 耕 司	柏市永楽台地域ふるさと協議会副会長	
	高橋 朝彦	大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会会長	
地域組織及び地域の経済団体	笠原 輝幸	柏市商店会連合会会長	
	望田 八重子	柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)福祉会	
	佐藤 健一郎	柏商工会議所事務局長	
	板津 守	柏ロータリークラブ幹事	
	石原 洋司	柏さくらライオンズクラブ事務局長	
	寺田 英史	一般社団法人柏歯科医師会理事	
	島田 幸男	一般社団法人柏市薬剤師会理事	
	赤地 浩	柏市消防団副団長	
	足達 伸一	柏市PTA連絡協議会副会長	
	行政及び教育関係機関	新井 賢蔵	柏市教育委員会生涯学習部教育総務課課長
		吉田 敬	柏市地域づくり推進部地域支援課課長
恒岡 真由美		柏市こども部子育て支援課課長	
社会福祉事業経営又は学識経験者	中川 智陽	(公社)成年後見センターリーガルサポート千葉県支部柏地区サブリーダー	
	大久保 貴将	ITS株式会社取締役社長	

※評議員任期：令和3年6月24日から令和7年度定時評議員会終結時まで

令和3年度
社会福祉法人柏市社会福祉協議会 組織体系図



第4期 柏市地域健康福祉活動計画
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

[年度別評価] 「◎」大幅に達成／「○」概ね達成／「△」取り組んだが達成に至らず／「×」未実施

1 地域・団体支援、ネットワークづくり

社協アクションプラン

(1) 地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進

地域いきいきセンターでは、地域福祉の支援拠点として、市民の身近な場所での相談支援や複合的な生活課題のコーディネート、支えあいの地域づくりの推進に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターにおける包括的な相談支援体制について、関係機関と共に検討を進め、年度内に具体的な方針を固める					◎
2年目	市内相談関係機関の顔合わせ及び継続したあいネットとの調整会議を実施し、ケース対応の連携強化を行うとともに、包括的な相談支援体制におけるいきいきセンターの役割の具体化を進める					○
3年目	あいネット及び関係各課との連携会議や相談支援機関と連携したケース対応を積み重ね、身近な地域での相談支援機能を強化する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

① 風早南部地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,350件			1,425件		1,475件
実績値①	1,383件	906件	906件			
実績値②	218件	163件	177件			
実績値③	821件	540件	487件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

② 松葉町地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,150件			1,225件		1,275件
実績値①	972件	984件	1,349件			
実績値②	102件	151件	158件			
実績値③	557件	436件	762件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

③ 光ヶ丘地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,200件			1,275件		1,325件
実績値①	1,307件	820件	1,126件			
実績値②	153件	152件	291件			
実績値③	696件	349件	337件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

④ 豊四季台地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,400件			1,475件		1,525件
実績値①	1,300件	1,061件	1,216件			
実績値②	141件	150件	96件			
実績値③	861件	605件	799件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑤ 富勢地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	950件			1,025件		1,075件
実績値①	970件	816件	1,524件			
実績値②	92件	91件	198件			
実績値③	642件	495件	704件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑥ 田中地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			—		—
実績値①	657件	1,192件	1,064件			
実績値②	35件	83件	191件			
実績値③	561件	936件	716件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑦ 南部地域いきいきセンター (2020.5開設)

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			—		—
実績値①	—	569件	873件			
実績値②	—	107件	325件			
実績値③	—	272件	315件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑧ 新富地域いきいきセンター (2021.4開設)

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—		—		—
実績値①	—	—	655件			
実績値②	—	—	108件			
実績値③	—	—	352件			

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての地域支援の実施

コミュニティソーシャルワーカーとして、市民とともに個人や地域の生活課題の把握や解決に向けた「我が事」「丸ごと」の地域づくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地区担当職員が従事する業務から把握した個別課題を、地域や社会資源と繋げるよう意識付けを行う					△
2年目	支えあいの取り組みを通じて、個別課題を踏まえた地域づくりを推進する					△
3年目	各地区担当職員が関わる中で、地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) ふるさと協議会や町会等、地域組織との連携の強化

地域の中心的な組織であるふるさと協議会や町会・自治会・区・管理組合の他、その地域にある多様な社会資源や広域で活動する団体等とも連携を強化し、ともに地域福祉の推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,500回			1,700回		1,800回
実績値	1,403回	944回	1,103回			

[※地区担当職員出向回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターの整備及び支えあい会議の取り組みを通じ、地域関係組織との連携強化を図る					○
2年目	地域支援課と連携し、新たに立ち上がるふる協及びその地域の町会組織との関係を深める					○
3年目	地域支援課と連携し、組織体制が変わる地域への支援を行い連携を強化する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(4) ゆるやかなネットワークの構築

既存の会議等と連携しながら、分野や対象、活動形態等に捉われず、あらゆる視点で、日頃からの情報交換や必要な時の連携、協力ができるゆるやかなネットワークづくりに取り組みます。

① 未就学児を対象とした子育て支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	1回	1回	1回			

[※情報共有や勉強会、交流の場の回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	11月頃に拠点で活動している子育て支援団体との第2回目の交流会（研修）を実施する					◎
2年目	今年度も地域の子育て支援団体との交流及び研修会を実施。地域の活動の情報収集及び利用者への情報提供を積極的に行う					○
3年目	子育て支援団体交流会の中で一緒に行っていた研修会と交流会を別枠として設け、研修と交流がそれぞれが実りある場となるよう実施していく。					△
4年目						
5年目						
最終年度						

② 子どもの居場所に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	10 団体			16 団体		20 団体
実績値	14 団体	21 団体	22 団体			

[※ネットワークに参加する団体数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新規に立ち上がる子ども居場所活動団体に対し、連絡会への参加を呼びかける	◎
	未就学児以上を対象としている子育て支援団体との関係づくりのため、地域のイベント等に積極的に参加する	○
2年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する提供情報の充実を図る	△
	ひろばに遊びに来た利用者に情報提供するための子育て居場所に関するマップの作成を行い、利用者へ積極的に情報発信できるよう努める	△
3年目	こどもの居場所活動団体とスクールソーシャルワーカーをつなげる機会を作る	×
	子育て支援団体情報マップを完成し、ひろば利用者の情報提供に活用する。幼稚園個別説明会は、オンラインを活用した集団説明会とし、情報提供の一環として全ての園の内容が一目でわかる一覧表を作成し配布する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

③ 若者支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	2 回	1 回	2 回			

[※連絡会の開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新しい参加者を含めた連絡会を開催し、ネットワークづくりを行うとともに、若者支援の取り組みを検討し実施する	○
2年目	連絡会の構成団体（助成金交付団体）以外にも参加を呼びかけ、情報や課題の共有、新しいネットワークづくりを行い、若者支援の連携強化を図る	○
3年目	関係団体と課題解決を目的に研修・講座等を実施する。また、必要に応じて新たなネットワークを作る	○
4年目		
5年目		
最終年度		

④ 相談機関等とたすけあい団体のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	20団体			40団体		60団体
実績値	20団体	14団体	28団体			

[※情報交換の場に参加する相談機関数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ケアマネージャーへの周知（団体一覧、たすけあいの理解促進）を行う	○
2年目	ケアマネージャーへのたすけあい活動手引きの改訂を行う	△
3年目	ケアマネージャー向けのたすけあい活動手引きの改訂を行う（たすけあいサービス以外に元気情報を活用して社会参加の視点を盛り込む）	○
4年目		
5年目		
最終年度		

⑤ 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	1回	4回	4回			

[※連携の場等の開催数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	年に1度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため、若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する	○
2年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める	◎
3年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(5) たすけあいの重層化の推進

地域組織やNPO法人、企業等の様々な日常生活支援活動が共存と協働、連携しあえるしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20回		40回
実績値	—	打合せ実施	打合せ実施			

[※研修・イベント数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	たすけあい団体との連携が有効な専門職や企業の洗い出しを行う	△
2年目	ネットワーク会議を開催し、多様な団体・企業などと手をつなげる状態を模索する	△
3年目	生活支援につながる企業サービスの情報を整理して一覧を作成し、たすけあい活動と連携ができるよう情報を発信していく	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(6) 支えあい団体を利用しやすい環境づくり

さわやかサービスのあり方を見直し、直接サービスを提供する他、たすけあい活動が、より多くの市民に利用されるよう、積極的に情報提供の窓口としての役割を果たします。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,200件			1,400件		1,500件
実績値	4,549件	4,004件	4,175件			

[※相談受付件数] 窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施。相談の集計方法を改善したことにより、計上される件数が増加。

年度別実施計画		実施評価
初年度	事例を通じたさわやかサービスと町会エリア及びコミュニティエリア、たすけあい団体との連携関係を構築する	○
2年目	さわやかサービスが持つ機能を地域課題のために有効に機能されるために、相談者やケアマネージャーからのニーズに基づき、支援メニュー・ルールの見直しを検討する	○
3年目	支えあい団体との連携を図り、スムーズなコーディネートにつなげるため、それぞれの役割、担い手の状況等を把握する。引き続き、支援内容、ルールの見直しを検討する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

2 新たなしくみや活動づくり

社協アクションプラン

(1) 多様な居場所づくりの推進

様々な分野とコラボレーションしながら、誰もが集えて、多世代が交流できる住民主体の居場所づくりの推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	260件			275件		285件
実績値	281件	280件	286件			

[※多様な居場所数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	多様な場所（公共施設・施設・企業・空き家・店舗）を活用した好事例を共有し、周知する	◎
2年目	居場所に活用できる場の確保と一つの場で世代を超えて多様な活動が展開できる事例づくり、環境づくりを行う	◎
3年目	多様な活動をしている通いの場の事例の情報収集と整理を行い、既存の啓発媒体の更新も踏まえながら、情報発信をしていく	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(2) 支えあい活動の推進

地域支えあい推進員と地区担当職員が、一体的に活動し、たすけあい活動や高齢者（多世代含む）の通いの場等の支えあい活動を推進します。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	全世代型の視点から高齢者が活躍できる場の抽出を行う					◎
2年目	地域元気情報の幅広い活用方法を検討し周知する					◎
3年目	元気高齢者づくりのための協議を行い、地域元気情報の幅広い活用方法を検討し、関係者へ周知していく					△
4年目						
5年目						
最終年度						

① たすけあい活動（町会エリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	39 団体			54 団体		58 団体
実績値	32 団体	35 団体	36 団体			

[※団体数]

② たすけあい活動（コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			18 団体		22 団体
実績値	17 団体	18 団体	19 団体			

[※団体数]

③ たすけあい活動（複数コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			19 団体		20 団体
実績値	18 団体	17 団体	15 団体			

[※団体数]

④ 通いの場（月一型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	196 団体			244 団体		275 団体
実績値	206 団体	200 団体	196 団体			

[※団体数]

⑤ 通いの場（週一型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	15 団体			28 団体		37 団体
実績値	17 団体	17 団体	20 団体			

[※団体数]

⑥ 通いの場（常設型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	11 団体			13 団体		14 団体
実績値	9 団体	8 団体	9 団体			

[※団体数]

(3) 見守りのしくみづくりと支援

既存の近隣関係や町会等の防災訓練や要援護者支援のしくみ等を活用、連動した日常的な見守り活動の推進と支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20件		40件
実績値	—	—	—			

[※見守りのしくみと支えあい活動の連携数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	公的な窓口の周知と一体的な見守り普及啓発チラシを配布する	△
2年目	通いの場、たすけあいから発展した見守りの推進を行う	△
3年目	市の総合相談体制構築の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、見守り安心ダイヤルの方向性について市と調整していく	×
4年目		
5年目		
最終年度		

(4) 効果的な介護予防活動の創造と普及

関係団体と連携し、健康寿命の延伸に効果的な介護予防事業の創造やその普及に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	220回			230回		240回
実績値	261回	122回	154回			

[※介護予防講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	講座を通じて影響のある企画内容や講師の評価、発掘を行うとともに、ほのぼのプラザの貸館業務等を通じ、民間団体が主催する市民向け講座の活用を図る	◎
2年目	いきいきセンター及び地域包括支援センター及び地域組織との連携による講座展開と、講座に集まらなくても介護予防の知識等が周知されるための紙面講座等の展開を行う	△
3年目	地域包括支援センターや地域いきいきセンター等との連携によって、介護予防を通じた居場所づくりの支援、ノウハウを共有するとともに、動画を通じた居場所づくり活動の支援を行う。また、市担当課の方向性を踏まえた対応と円滑な内外調整を行っていく	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(5) 新たな福祉課題へのモデル的な活動の実施

新たな福祉課題（現代的な課題等）に対応するため、課題に応じた支援体制（ゆるやかな連携等）やモデル的な活動、しくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			1件		1件
実績値	検討	2件	2件			

[※新たな課題に対する体制や活動数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな課題や複合的な課題解決に向けた総合相談やいきいきセンター、地域の連携によるモデル的な活動を検討する	△
2年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年2回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3年目	金銭管理に関する課題を整理し、関係機関等と連携体制や新たな取り組み、仕組みを検討する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(6) 空き家の活用等に関する研究

市の空き家対策の状況を踏まえながら、空き家の有効活用やそのしくみづくりについて研究します。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

年度別実施計画		実施評価
初年度	市住宅政策課の動向を踏まえ、本会としての方向性について検討する	△
2年目	市からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けて体制整備グループとの連携により可能性を探っていく	○
3年目	住環境再生課からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けての調整を行っていく	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(7) 子育て支援拠点の充実

イベントや講座等の充実による居心地の良い居場所づくりや出張相談等の相談業務の実施等、子育て支援拠点の充実に取り組みます。また、災害時にできるはぐはぐ広場での親子への支援等の検討を進めます。

① 居心地の良い居場所づくりと相談支援体制の充実

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、年齢に応じた遊具等の整備及びファミサポ、拠点、利用者支援事業を併せたパンフレットを作成する	◎
2年目	前年度の体制を継続。出張相談や育児講座で発信された内容をホームページで発信し、より多くの人に情報提供を行う。また、他機関とのつながりを強化し、個別のケースに対して連携が取れるよう進めていく	○
3年目	出張相談は、新たにラコルタ柏「多世代交流スペース」で実施する。また、新たな相談方法としてリモートを活用した相談を緩やかに実施する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

② 災害時の親子（未就学児とその親）への支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	2回			2回		2回
実績値	2回	2回	3回			

[※利用者を交えた避難訓練実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員避難訓練を毎月実施、年2回利用者を交えた訓練を実施する	◎
	災害時対応を沼南社会福祉センターと子育て支援拠点で検討し、避難訓練を実施する	△
2年目	災害の際に、常に職員が敏速に動けるよう、定期的な避難訓練を実施。災害用備蓄品の管理及び備蓄場所、使用方法の確認を定期的に行う	○
	子育て支援グループとの避難訓練時に災害時を想定し、受け入れ体制のシミュレーションを実施する	◎
3年目	4月に非常時の持ち出し品と避難経路の確認を行う。また、月1回子育て支援グループでの避難訓練（うち利用者を交えた訓練を3回実施）を実施し、随時改善を図る	○
	はぐはぐひろばの利用者を交え、新設した避難階段を使用し、安全な避難訓練が実施できるよう、避難階段周辺の整備を行い、避難訓練を実施する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(8) 成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用促進法に基づき、柏市や職能団体等と連携し、かしわ福祉権利擁護センターにおける成年後見制度の利用促進に積極的に取り組みます。
また、制度の普及啓発や相談窓口の設置等により、潜在的な対象者の早期発見から支援までのしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	柏市等と話し合いを持ち、成年後見制度の普及啓発や中核機関の設置等についてしくみや内容等を検討する					◎
2年目	かしわ福祉権利擁護センターのあり方も踏まえ、引き続き市担当課と話し合いを行い、来年度の実施に向けた準備等を行う					◎
3年目	一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）との連携体制の構築と、協働した成年後見制度普及啓発等事業を行う					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(9) 日常的な活動等に障害者も参加できる環境づくり

障害者を対象とした活動ではなく、日常的な様々な活動や場面の中に、障害者が自然と活動、参加できる工夫や環境づくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			2回		2回
実績値	1回	0回	0回			

[※理解促進に関わる取り組み回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	障害者のスポーツ推進の取り組みと連動し、地域行事などに障害者が気軽に参加できるような環境づくりを関係団体と検討する	○
2年目	市の障害者スポーツの取り組みを通じて、障害者が参加しやすい地域活動のあり方を検討する	△
3年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体の調整を行う	×
4年目		
5年目		
最終年度		

3 人材の育成や活用、支援

社協アクションプラン

(1) 我が事意識の醸成に向けた福祉教育の推進

我が事意識の醸成を目指し、世代に応じた福祉教育を展開します。また、児童・生徒に対しては、啓発チラシやボランティア体験等、夏休み期間を活用した福祉事業の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	600人			600人		600人
実績値	676人	132人	360人			

[※夏ボラの参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「夏ボラのススメ」を発行、学校等に配布・周知のうえ参加を呼び掛ける	○
2年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	△
3年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(2) ボランティアコーディネート機能の充実

依頼者と活動者をつなぐコーディネートの効率化と実践を通じた量・質を兼ね備えたコーディネートに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	480件			480件		480件
実績値	446件	74件	108件			

[※ボランティアコーディネート件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	通常のコーディネート業務に加え、体験同行や依頼先施設等への訪問を行う	○
2年目	単発的な依頼と年間を通じた依頼のすみ分けを意識して取り組む。ボランティア支援希望者と活動希望者の円滑な調整及び活動同行や施設等への訪問を適宜行う	△
3年目	コロナ禍でのボランティア活動への支援。ボランティア団体や依頼者へ新たな活動方法の提案をする。また、活動希望者のニーズにある活動先の紹介をしていけるようなマッチングに取り組み、データ分類を行っていく	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(3) 活動の場までつなぐ人材の育成

活動の場へのコーディネートまでを含めた人材育成（講座）・相談支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	5講座			10講座		10講座
実績値	5講座	3講座	3講座			

[※体験等を含む人材育成講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	入門、精神保健ボランティア講座、傾聴講座等を開催し、人材の育成を行う	○
2年目	例年実施する講座に加え、施設等でニーズの高いボランティアの企画・養成を行う	△
3年目	各機関と連携しての講座の企画や実施を行い、育成後の活動の場を提供していける仕組みづくりに取り組む	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(4) プロボノの研究

各分野の専門家が、職業上持つ知識やスキル、経験を活かし社会貢献するボランティア活動（＝プロボノ）を研究します。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	－			100人		200人
実績値	－	－	－			

[※専門技術を活かしたボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	個人登録ボランティアの持つ専門技術の情報整理を行う	○
2年目	昨年実施した調査データをもとに活用方法を検討する	△
3年目	調査データを基に活用方法について、引き続き検討を行う	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(5) ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援

福祉教育や支援の担い手等、ニーズに応じた人材育成や活動者、担い手の確保、活動支援に取り組みます。また、ボランティアセンターの個人ボランティア登録者に対し、定期的な情報提供を行う等、活動の活性化に取り組みます。

① 福祉教育ボランティアの育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施		⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	30人			30人		30人
実績値	41人	41人	20人			

[※福祉教育ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	福祉教育ボランティア交流会を実施し、福祉体験講座の講師依頼時に活動できるよう調整を行う	○
2年目	福祉教育ボランティア養成講座を実施し、人材の拡充を行う	△
3年目	少人数で対応可能な福祉体験の内容検討と、ボランティア増員のための養成講座を実施する	△
4年目		
5年目		
最終年度		

② 災害時に動けるボランティアの育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施		⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	72人			77人		87人
実績値	79人	96人	102人			

[※災害ボランティアコーディネーター登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、コーディネーターを養成、修了者による自主勉強会の支援を行う	○
2年目	養成講座の企画・開催及び防災・災害ボランティア団体との連携・交流、その他、修了者による被災地支援の検討等を行う	○
3年目	感染症対策を講じた災害ボラセン運営マニュアルの見直しとコーディネーターの養成を継続する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

③ 生活支援員の育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施		⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	45人			55人		65人
実績値	43人	38人	38人			

[※生活支援員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな生活支援員獲得に向けた対策を検討、退任民生委員向けに説明会を開催し、新しい生活支援員を確保する	△
2年目	他部署との連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講生を生活支援員につなげる等、新たな人材の確保を行う	△
3年目	他部署と連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講者を生活支援員につなげるなどの人材発掘を行う	△
4年目		
5年目		
最終年度		

④ 市民後見人の養成・育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	25人	31人		41人		51人
実績値	23人	23人	44人			

[※市民後見人候補者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	養成研修中は、定期研修や利用者訪問等を行い、修了後はフォローアップ研修や情報交換を行い育成する	◎
2年目	第4期市民後見人養成研修（座学、実習等）を実施、新たな市民後見人の養成を行う	△
3年目	第4期市民後見人養成研修を実施、新たな市民後見人の養成を行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

⑤ 後見支援員の活動の場の提供と拡充

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	15人			30人		40人
実績値	14人	25人	28人			

[※後見支援員延活動者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	法人後見の継続により、後見支援員活動の場を確保するとともに、普及啓発活動等への協力を促し、活動の場の提供と拡大を図る	○
2年目	後見支援員の新たな活動の場として、南部地域いきいきセンターを活用した意思決定支援（望みノート）や成年後見の普及啓発活動を行う	○
3年目	南部地域いきいきセンター以外でも終活応援ルームを行うなど、意思決定支援、成年後見制度普及啓発活動を拡大する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

⑥ さわやかサービス協力会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	170人			230人		250人
実績値	149人	168人	168人			

[※さわやかサービス協力会員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	既にルートのあるシニアへの募集に加え、長期的な人材確保のため子育て世代への募集ルートを開拓する	◎
2年目	社協のサービスを跨いだ学びの機会の提供により、地域共生社会における多様な参加支援を進め、さわやかサービス協力会員を確保する	◎
3年目	年4回の登録説明会の実施のほか、協力会員の人数を確保したい地域（増尾、光ヶ丘、南部等）に出向き、臨時説明会を実施する。また、スキルアップ研修等で会員同士のつながりをつくり活動の活性化に努める	△
4年目		
5年目		
最終年度		

⑦ 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）の養成

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	310人			430人		510人
実績値	323人	333人	333人			

[※かじサポ登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	研修の参加者増加に向け、募集ルートの開拓、資格取得をし、就労していない方への調査、フォローアップ講座を行う	◎
2年目	生涯現役促進協議会との連携により募集ルートの確保を行う	△
3年目	柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）のフォローアップとともに、現時点の状況について情報を収集する（現況調査）	○
4年目		
5年目		
最終年度		

⑧ ファミリー・サポート・センター協会員・両方会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	400人	430人	460人	490人		550人
実績値	370人	416人	455人			

[※ファミサポ協会員・両方会員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	地区ごとの利用状況や協会員の状況等を踏まえ、地区担当者や地区リーダー協力のもと、効果的な人材確保に取り組む（地域での説明会の実施）	○
2年目	基礎研修が受けやすい体制を構築する。また、必要とされた地域に出向いての個別説明と事業説明を積極的に行い、協会員獲得のためのチラシやポスターを各所に配布。社協のホームページで情報も発信していく。	○
3年目	基礎研修会の開催回数（年4回から6回）や午前のみ2日間コース（1回から2回）、開催場所（松葉近隣センターの3か所）を拡大し、会員確保に努める。また、協会員獲得のPR活動に地区リーダーも交えて取り組める内容を構築し、実施する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

⑨ 個人登録ボランティア登録者の増加

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,000人			1,120人		1,200人
実績値	1,094人	931人	880人			

[※個人ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「通年ボラ∞」を発行・配布し周知を図る	○
2年目	「通年ボラ∞」の発行及び配布。QRコード登録によるお知らせメール機能のPRを行う	○
3年目	ボランティア入門講座の開催数を増やし、個人ボランティア登録者の増につなげる。また、メールマガジン配信システムを活用し登録者に対する情報発信を行う	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(6) モデル活動の実施と「地域づくり」との連動

地域いきいきセンター等で実施したモデル的な成功事例を、ボランティアセンターや地区担当職員等と連動して、地域全体への拡大に向けて取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1事例			1事例		1事例
実績値	1事例 (支えあいイベント)	1事例 (教育福祉会館事業)	1事例 (オンラインの活用)			

[※モデル的な取り組み事例数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	試行的、先行的に実施する人材育成や地域活動について、他の地域での適用を検討し中央から地域、地域から地域へ広げる仕組みをつくる	△
2年目	新教育福祉会館の方針を踏まえ、開館に向けて多目的スペースでの事業展開や講座等の企画案を作成しておく。(コロナ禍により試行が困難なため)	○
3年目	昨年度作成した企画案を活用し、実施に向けた検討を行う	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(7) 介護予防を通じた地域活動の支援

ほのぼのプラザでの介護予防のノウハウを生かし、地区担当職員と連携し、地域に出向き、地域のつながりやサロン活動の充実に役立つ出前講座や人材育成等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	120回			140回		160回
実績値	105回	15回	106回			

[※フレイル予防・健康づくり出前講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	○
2年目	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	△
3年目	フレイル予防健康づくり出前講座を通じた居場所づくり活動の支援を行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(1) 総合相談（貸付等）を窓口とした生活課題へのアプローチ

総合相談（貸付等）をきっかけに、相談者が抱える複合的な福祉課題の整理や制度・専門機関等へのつなぎ等、課題解決に向けた支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	80件			120件		130件
実績値	209件	2,072件	1,078件			

[※課題を整理し支援機関や制度につないだ件数]

※コロナ特例貸付で状況確認シートを使用して、あいネットと連携、情報共有した件数も含む

年度別実施計画		実施評価
初年度	複合的な生活課題を抱えた相談者の課題を整理し、解決に向けた助言や必要な機関等へのつなぎを行う	◎
2年目	複合的な課題を抱える相談者の課題の整理や助言、必要機関へのつなぎ等を行い、相談者の課題解決を図る	○
3年目	心配ごと相談や福祉資金の貸付等の相談対応や督促等により、相談者の課題解決や解決に必要な支援を行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(2) 相談の集約と分析による新たな福祉課題への対応

社協の各相談窓口に寄せられた相談や生活課題を集約・分析し、新たな福祉課題等の整理や解決、対応等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	社協内での相談データの集計方法の見直しを行い、相談データから総合相談が必要なデータを抽出して課題を整理する					△
2年目	各担当間の相談データの集計や分析を行い、福祉課題の傾向や取り組むべき課題の整理を行う					△
3年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) 複合的な福祉課題解決への連携と支援

相談支援機関等が複合的な福祉課題の解決に取り組む際、総合相談や地域いきいきセンター等がその特徴やノウハウを活かし、分野を越えた横断的な支援体制の構築や課題解決への支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			9回		11回
実績値	—	2回	3回			

[※分野を超えた検討の場の実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏市やあいネット等の関係機関と協議を行い、計画に掲げる包括的な相談支援体制の構築に向けた検討を行う	○
2年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年2回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3年目	社協、あいネット、生活支援課等との定例的な打合せを活用して連携や支援を行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(4) 福祉サービス利用援助事業の速やかな利用に向けた体制づくり

速やかな訪問調査や契約判断を行える体制づくりを進め、支援が必要な利用者の速やかな制度利用に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	生活支援員向けの研修会を開催し、質の向上を図るとともに、退任民生委員向け説明会を実施し、新たな生活支援員の確保を行う	△				
2年目	利用者数の増加に対応するため、生活支援員の確保や研修等を行い、人材確保と質の向上を図る	△				
3年目	認知症、精神障害者等、様々な利用者に対応するため、生活支援員の確保に向けた研修、スキルアップ研修等を実施する	○				
4年目						
5年目						
最終年度						

(5) 権利擁護の切れ目のない支援

元気なうちから亡くなるまでを意識した継続的な支援体制の構築を目指し、任意後見や死後事務等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	任意後見、死後事務、財産管理等委任契約を総合的に支援できる相談支援体制の構築に向けた支援を行う	◎				
2年目	福祉サービス利用援助事業の利用者から法人後見への移行や任意後見、死後事務等のモデル的な取り組みを継続しながら、切れ目のない支援体制の充実を図る	○				
3年目	日常生活自立支援事業から成年後見制度利用に向け、切れ目のない支援ができるよう生活支援員、後見支援員への研修体制を充実する	○				
4年目						
5年目						
最終年度						

(6) 介護予防事業の効果的な実施

市全域を意識し、市民に身近な会場（公共施設等）で介護予防事業（出張講座等）を実施します。また、ほのぼのプラザと老人福祉センターの連携を強化し、老人福祉センターにおける介護予防の充実や情報提供に取り組みます。

① 介護予防センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
実施		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	50回			60回		70回
実績値	68回	63回	82回			

[※公共施設等を利用した講座開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等の地域性を意識した講座企画を増やす	○
2年目	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等を活用し、地域に根ざした講座展開を進める	△
3年目	コロナ禍でも社会参加できる活動の場づくりの提案・支援を行うとともに、紙面講座を通じた「つながり切らさないための活動」支援を行っていく	◎
4年目		
5年目		
最終年度		

② 老人福祉センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
実施		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	500人			800人		1,000人
実績値	514人	60人	113人			

[※老人福祉センター事業の内、主たる目的が介護予防の講座の参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ほのぼのプラザとの連携を強化し、介護予防機能を有した事業展開をする	○
2年目	参加者の増加を目的とし、ほのぼのプラザと連携を強化し魅力ある講座を実施する	△
3年目	高齢者の引きこもり防止を目的に、コロナ禍でも創意工夫を図り、魅力ある講座を実施するため、ほのぼのプラザとの連携、強化を図る	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(7) 新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施

一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充や、保護者の緊急時に子どもを預かる体制づくりに取り組みます。

① 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	190人			210人		210人
実績値	185人	98人	140人			

※3年目）コロナ禍で受入人数を半分体制
 [※ぞうさんルーム利用者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者からのニーズに応え、10月から月1回ぞうさんルーム実施日の拡大を図る	○
2年目	令和3年10月より第3火曜日を実施予定のため、一人に対する月の利用制限を設ける等、多くの方に利用してもらうよう利用状況の見直しを図る	○
3年目	ぞうさんルームについて、3時間から6時間に一部拡大（受け入れ人数の半分）し、6時間の利用者にアンケートを行い、利用の効果を把握して今後の拡大の検討の参考にする	○
4年目		
5年目		
最終年度		

② 保護者の緊急時の子どもの預かりの体制づくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	市との定期的な話し合いを行い、場所や人材確保を含め検討する	△				
2年目	社協としての緊急の預かりを再確認したうえで、実施できることを想定した受け入れ体制の構築及びマニュアル作りを考えていく	△				
3年目	ぞうさんルームの6時間拡大による利用者親子の反応をみて、一時保育の在り方を考えていく。また、アンケート調査を実施し、利用者のニーズに応えられるよう模索し、小さなことでも実施につなげられる糸口を探す	○				
4年目						
5年目						
最終年度						

(8) 移動困難者への支援

高齢者や障害者等の移動困難者に対し、通院や社会参加（サロン参加等）等の日常生活における移動支援に取り組みます。福祉有償運送の安定的な実施（こらくだくん）に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6,500件			6,800件		7,000回
実績値	5,681件	4,506件	5,199件			

[※年間利用総件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員の資質向上に向けた研修会を実施する	○
2年目	利用者に対し均一したサービス提供ができるように、特例等の見直しを含め内規等の見直しを図る	○
3年目	市民にとって利用しやすく均一したサービスが提供できるよう、特例件数の更なる見直し、内規等の整備を実施する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(9) 地域組織との連携による地域包括ケアシステムのモデル展開と普及

沼南圏域から地域組織や地元住民等の協力と連携のある個別ケアの支援体制（地域包括ケアシステム）のモデル的な展開と普及に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1ヶ所			2ヶ所		3ヶ所
実績値	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所			

[※個別ケア支援体制の普及数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	団地で地域組織と連携して徘徊模擬訓練・サポーター講座などを行い、戸建て地域と比較した住まい方の違いによる効果的な認知症の方の見守り体制づくりを検討する	△
2年目	団地や学校・商店会などの地域の中で、認知症の方への声かけと見守り体制について、有事の際（新型コロナや災害等）の多対応も合わせ、地域組織や事業者と連携し検討する	△
3年目	大津ヶ丘団地や商店会を中心に、認知症サポーター養成講座、徘徊模擬訓練などを行い、地域の中での認知症の方への声かけと見守り体制について、地域組織や事業者と連携し検討する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

5

情報発信・普及啓発

社協アクションプラン

(1) 地域共生社会の普及啓発

市民一人ひとりがあらゆる生活課題に取り組む「我が事」の意識等「地域共生社会」の考え方や活動について、その普及啓発に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	第4期活動計画のPRを含め、本会HPにより地域共生社会の考え方等について啓発を行う	◎				
2年目	行政との連携会議の充実と地域での支えあい活動を活かした地域共生社会の意識の醸成を進めていく	○				
3年目	第4期柏市地域健康福祉活動計画の見直しとともに、地域共生社会の実現に向けた啓発方法を再考していく	○				
4年目						
5年目						
最終年度						

(2) 福祉課題の社会化（見える化）

社協に寄せられた相談内容の分析結果や福祉課題等を市民や関係機関等に発信し、地域で起きている福祉課題の社会化（見える化）に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	1回	3回	1回			

[※見える化して発信した回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	相談データ等を整理・分析し、福祉課題や傾向等の見える化を行うとともに、各種会議やHP等を活用し、福祉課題の傾向等の情報共有を行う	△
2年目	貸付利用者の状況や心配ごと相談の相談内容等のデータを整理し、課題や傾向を分析する。また、分析結果を会議等で情報提供・共有する	○
3年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題の見える化を図り、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(3) 全世代を対象とした意思決定支援の普及啓発と実施

子どもから高齢者、障害の有無を問わず活用できる「わたしの望みノート」を目指します。また、介護や医療、死後等に関し、本人が意思を伝えられない時に伝える手段として意思決定支援の必要性の普及啓発と作成機会の提供に取り組みます。

① 「わたしの望みノート」の改訂

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	記入した人やケアマネージャー等の支援者から活用状況について意見を聞き、市・医師会が作成した資料や厚労省の動向等を踏まえて、「わたしの望みノート」改訂に向けて情報収集する					○
2年目	「わたしの望みノート」を記入・活用した市民のモニタリング結果を踏まえ、より良い「わたしの望みノート」への改訂に向けた準備を行う					△
3年目	これまでの取り組み等を踏まえ、今後のわたしの望みノートのあり方の検討と必要な改定を行う					○
4年目						
5年目						
最終年度						

② 全世代に対する意思決定支援に関する普及啓発

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			200人		250人
実績値	—	155人	100人			

[※普及啓発した人数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	現在の「わたしの望みノート」をもとに、親を介護している世代や学生等も意思決定の必要性や重要性について考えられる普及啓発の仕方や内容を検討する	△
2年目	南部いきいきセンターで行う事業を通して、幅広い人々への意思決定支援の普及啓発を行う	△
3年目	後見支援員と協力して、南部近隣センター以外の場所で普及啓発事業を行う	△
4年目		
5年目		
最終年度		

(4) 障害者のスポーツを通じた理解促進

障害者のスポーツとの連携等、新たに福祉以外の切り口から障害理解の促進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			2回		2回
実績値	1回	0回	0回			

[※スポーツを切り口とした理解促進の取り組み数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	市スポーツ課との連携により、障害者スポーツの支援ボランティアの育成とともに、理解者を増やしていく	○
2年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会に引き続き参画し、スポーツを通じた障害理解や人材育成を推進する	△
3年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体の調整を行う	×
4年目		
5年目		
最終年度		

(5) 寄附文化の醸成

様々な寄附や活動助成等の方法について、広く市民に普及啓発を行い、寄附文化の醸成や新たな活動助成金の獲得方法等の普及啓発に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	多様な寄附方法やファンドレイジング等の情報を収集し整理する					△
2年目	遺贈を含めた金銭及び物品寄附の仕組みづくりについて検討していく					△
3年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4年目						
5年目						
最終年度						

Ⅱ 社協発展・強化計画

[年度別評価] 「◎」大幅に達成／「○」概ね達成／「△」取り組んだが達成に至らず／「×」未実施

1 拠点戦略

社協発展・強化計画

(1) 新たな地域いきいきセンターの設置

市と協議の上、市民の身近な相談窓口や地域活動支援、ネットワークづくり等の拠点となる地域いきいきセンターの計画的な設置に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6ヶ所			9ヶ所		11ヶ所
実績値	6ヶ所	7ヶ所	8ヶ所			

[※地域いきいきセンター設置数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	市と調整を行い、補助金（人件費、事業費）要求等を行っていく	○
	計画の設置目標を前倒しし、関係機関と調整のもと整備する	○
2年目	設置計画に基づき、次期開設に向けた調整を地域支援グループとともに進め、人員配置と補助金要求の調整を行っていく	◎
	令和3年度8か所目の新規開設に向けて、関係機関及び地域との調整を図る	○
3年目	市担当課との調整により、設置計画の見直しと設置に向けた調整（人員配置計画、市補助金等）を行っていく	○
	令和4年度9か所目のセンター開設に向けて、市担当課と協議をしながら準備・調整（地域選定、地域との合意形成等）を行う	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(2) 災害時、はぐはぐひろば沼南利用者への一時避難体制の整備

はぐはぐひろば沼南開設時に災害が起きた際、帰宅に不安を感じる利用者等を沼南社会福祉センターで一時的避難するための体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの合同避難訓練を実施する	△				
	避難所としての体制整備等の検討を行う	△				
2年目	センター内のそれぞれの担当グループの体制を整え、シミュレーションを交えた避難訓練及び一時避難場所として想定した訓練を、センター全体で年1回行っていく	○				
	災害時マニュアル等とあわせて、避難所として必要な新たな資機材の調査、検討を行う	○				
3年目	子育て支援グループの避難訓練と併せ、一時避難場所を想定したシミュレーションを実施する	◎				
	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの連携で、一時避難体制と役割を明確化し、はぐはぐひろばの避難訓練を沼南社会福祉センターの訓練に合わせて、年1回合同で実施する	○				
3年目	引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、業者と調整を進め、引き続き検討する	○				
	沼南社会福祉センターに新設した避難階段への避難経路の安全性を高めるため、転落防止柵を設置する	◎				
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) 沼南社会福祉センターの維持管理及び機能の充実

沼南社会福祉センターの修繕計画等に基づく計画的な維持管理の徹底と、市民が利用しやすいセンターを目指し、センター機能の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	13,000人			14,500人		15,500人
実績値	12,414人	5,435人	6,024人			

[※来館者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、貸館の管理機能の充実を図る（調理室の整備）	○
	修繕費に関する負担の整理・調整を行い、財政に係る基本方針における修繕積立計画の見直しを行う	○
2年目	規定に沿った貸館業務を実施するために、利用団体の利用料等の見直しを図る、また、LED化を計画どおり実施する（3階）	◎
	財政に係る基本方針の見直しと修繕等保全計画に基づく工事を実施、来年度計画の実施に向けた補助金調整を行っていく	○
3年目	定期補修整備の実施、主にエレベーター補修及び高圧電気設備の補修と照明のLED化（2F）	○
	修繕等保全計画の更新と計画に基づく工事に係る市補助金の調整を行っていくとともに、修繕積立金のあり方を検討する	○
4年目		
5年目		
最終年度		

(4) 沼南社会福祉センターの全世代型施設への強化

子育て支援拠点や移動サービス、地域包括支援センター、ボランティア活動室等、あらゆる市民を対象とした施設である沼南社会福祉センターを、全世代型の施設として、その機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	子育て世代から高齢者まで多様な世代の方からの相談等が受けられる相談窓口の連携を強化する	○				
	全世代型の施設を意識した連携事業を行う	△				
	各担当と連携し、試行的実施に向け定期的に検討の場を設置する	△				
2年目	定期的な会議の場を設け、計画的な事業展開を図る	○				
	センター全体での会議の実施、各担当グループができることを出しあい、センター全体で取り組めるイベント等を模索及び計画を立てていく	△				
	令和2年度の早い時期に、沼南社会福祉センターと子育て支援グループと、お互いの特性を活かした効果的な取り組みについて検討する	○				
	令和2年度の試行的実施に向けて、各担当による検討・調整の場を設定する	○				
3年目	全世代型施設への取り組みについて、担当課間で話し合いの場を設け、具体策を講じ、事業実施に向け計画する	○				
	はぐはぐひろば利用者やイベント等の際に、障害者施設の出張販売や認知症カフェとの連携など、新たなつながりや理解を生む機会を提供する	△				
	沼南社会福祉センター全体でできることを話し合う機会をもつ。各担当が協力し合える体制づくりのために、災害避難訓練の合同実施を今年度も行う	○				
	関連する各担当による検討の場を設定し、試行実施に向けた調整を行っていく	○				
4年目						
5年目						
最終年度						

(5) 事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保

ボランティアセンター設置場所や事業規模の拡大、職員数の増加等を踏まえ、機能的な事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	官民協働検討委員会の動向を踏まえ、地域福祉課と連携しボランティアセンターのあり方等を検討する					△
2年目	市の包括的相談支援体制の方向性に基づき、新たな教育福祉会館における本会の役割を明確化し、令和3年度に向け組織改編を検討する					◎
3年目	将来的な事業展開を踏まえ、組織体制及び事務所のあり方を整理し、組織改編を視野に検討を行っていく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

2 人事戦略

社協発展・強化計画

(1) 人事採用計画に基づく職員定数の適正化と計画的な職員採用【採用】

事業規模や業務量、職員の年齢構成等を踏まえ、人事採用計画の見直しを図るとともに、計画的な人事採用により、職員の適正定数確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域包括支援センターにランチや利用促進基本計画における中核機関の動向により、人事採用計画の見直しを行う					○
2年目	将来的な事業展開を踏まえ、地域いきいきセンターや相談支援体制の強化・安定化を柱とした適正な人員配置を検討し、定年補充等を含めた採用計画の見直しを行う					◎
3年目	地域いきいきセンターの設置計画及び定年退職者の補充、さらには将来的な組織改編を視野に職員定数及び採用計画の見直しを行う					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(2) 体系的な人材育成による職員の専門性の向上と資質の確保【育成】

人材育成・研修体系基本方針に基づき、OJT（職務内）、OFF-JT（職務外）、SDS（自己啓発援助制度）の視点から人材育成を行い、職員の専門性の向上と職務職階に必要な資質の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	階層別研修の見直しとOJTのあり方、指導担当職員の配置等について検討する					◎
2年目	人材育成基本方針に基づき、特に法人会計や労務管理等に関する外部研修への参加・資格取得を強化する					◎
3年目	職員の人材育成・研修体系基本方針に基づき、職階上並びに業務上必要な専門知識の取得を推進していく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) 明確な評価制度と処遇等への適正な反映 [評価と処遇、配置]

明確な人事考課制度と基準に基づく評価、評価結果の処遇への適正な反映等により、適正な人事管理や配置、職員の就業意欲の向上に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の人事考課制度と処遇を検証し、その方策を検討する					△
2年目	実施計画等の連動による目標設定と人事評価を検討する					◎
3年目	評価目標の取り組み推進に向けた中間面談を実施する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(4) 障害者雇用の推進 [採用]

障害者とその能力を發揮できる職場環境の整備と職員の意識改革を図る等、障害者雇用の推進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	障害者雇用に係る関係機関(団体)と調整し、受入体制を整えたいうえで、基準以上にするための採用準備を行う					△
2年目	関係機関と連携し、障害者雇用のための情報収集と雇用に向けた検討を行う					◎
3年目	障害者雇用職員が継続して働きやすい環境整備とマニュアルを作成する					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(5) 働きやすい職場環境の整備による長期雇用の実現 [処遇]

働きやすい職場環境や福利厚生等の充実を図り、職員の長期雇用を実現し、安定した組織運営や福祉サービスの提供、地域福祉活動の支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	働き方改革に向けた本会方針を策定するとともに、衛生委員会への諮問や近年の離職率を算出する					△
2年目	働きやすい職場についてのアンケートを実施する					◎
3年目	前年度の職場環境調査及びストレスチェックの評価を踏まえて、改善目標の設定と改善に向けた職員の意識の共有をする					◎
4年目						
5年目						
最終年度						

(1) 役員・評議員の機能強化

定数や選出区分の見直し等を行い、理事会や評議員会の活性化と環境整備を図り、執行・議決機関としての機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任期満了に伴う改選（令和3年度）に向けた定数及び執行・議決機関の意義を再確認するとともに、理事会・評議員会で意見聴取し、方針案を策定する					△
2年目	令和元年度に調査した他市状況結果をさらに精査したうえで、任期満了に伴う改選（令和3年度）に向けて方針案を提案する					◎
3年目	令和3年度の役員、評議員の改選を機に、それぞれの役割の明確化と機能強化並びに職員と顔の見える関係の構築に取り組む。また、議論できる体制と意思決定を行う機会を増やすために理事会の充実を図り、地域ニーズや活動者等の声を法人の運営に反映できるよう、評議員のテーマ別懇談会を実施する。さらにはオンライン会議の開催に向けた環境の整備と体制を構築する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(2) 市社協の認知度向上と理解者の拡大

既存のPR媒体の定期的な見直しや新たな広報媒体の活用、対象を意識した普及啓発活動等により、市社協の認知度向上や理解者の拡大に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	オンライン及びオフライン媒体を有機的に活用したPRを行う					○
2年目	社協事業の啓発を行うための啓発物を制作する					△
3年目	企業に向けたアンケートによる協力可能な状況を踏まえて、GL会議等で議論し、認知度向上に企画案を作成する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) 災害時の体制整備

災害時、利用者の安否確認や災害ボランティアセンター設置等を速やかに行えるように職員参集や設置訓練等を実施し、災害時の体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	本部マニュアルの再確認及び担当部署の対策（マニュアル等の有無）を集約し、総括的な対策について検討する					△
	沼南社会福祉センターの防災計画の見直しを行い、避難訓練を実施する					△
2年目	災害対策会議の検討内容にあわせてマニュアル改訂を行う					△
	避難経路の確保と整備として、はぐはぐひろばからの外階段の設置や外経路の整備を実施する。また、それに併せ新たな避難経路のマニュアルを作成する					○
3年目	引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、業者と調整を進め、引き続き検討する					○
	消防計画に沿った避難訓練を実施し、新たに避難経路のマニュアルを作成する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(4) 社会福祉法人との連携強化

協議体や中間組織としての機能を活かし、社会福祉法人等とのネットワーク形成や連携を図りながら機能的な法人運営や効果的な事業展開に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	年に1度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する					○
2年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める					◎
3年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(5) 機能的な事務局組織体制の構築

組織と事業規模が拡大する中で、スピード感のある意思決定や組織運営が行える機能的な事務局組織体制の構築に取り組みます。また今後、AI（人工知能）等の新たな技術を活用した事務の効率化等の検討も行います。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	組織体制の現状を再整理・再検討する。また、スピーディな事務処理、決裁手段ができる環境を模索する					△
2年目	専決・決裁区分の見直しを行う					△
3年目	集めた情報を整理し、検証・評価・協議を行う					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(6) 市との連携強化

事業担当者間の課題解決や懸案事項の調整、合意形成等を目的とした会議等を開催し、市との連携強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社会福祉課との連絡調整会議や地域共生社会の実現に向けた連携会議により、包括的な相談支援体制の構築に向け調整を図っていく					○
2年目	福祉政策課との連絡調整会議、地域共生社会の実現に向けた連携会議において、特に包括的な相談支援体制の構築について本会の意向等を発信していく					○
3年目	地域共生社会の実現や重層的支援体制整備事業において、本会の役割と機能を十分に発揮するため、市や関係機関と連携をさらに強化していく。また、災害時における相互協力に関する協定の締結等についても具現化を進めていく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(7) 個人情報保護や財務会計のチェック体制の強化

個人情報の保護や財務会計のチェック体制の強化等、法人としてのコンプライアンスやガバナンスの強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現状の個人情報のリスト化、会計チェックの再検証を行い、内部牽制の再構築を図る					○
2年目	個人情報の取り扱いに関する知識向上と意識の醸成を図ったうえでチェック体制のあり方について検討する					◎
3年目	外部講師を招いて研修会を実施し、その後、担当ごとのチェックリスト作成を検討する					○
4年目						
5年目						
最終年度						

4

財政戦略

社協発展・強化計画

(1) 会員会費制度の見直しと会員確保

会費の安定財源化を目指し、会員会費制度の見直しとPRの強化、使途の明確化（充当先の整理）等を図り、会員確保と会費拡充に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	財源確保・社協認知度のための会員制度の啓発方法を検討する					○
2年目	会員向けに昨年度発行した社協カレンダーの評価アンケートを行い、その結果をもとに今後について検討する。また、3-(2)と一体的な運営を行う					○
3年目	パンフレットの見直しと合わせて、職員に写真の提供依頼をしていく					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(2) 寄附文化の醸成と寄附者の拡大

市民が寄附したいと思える寄附制度の構築と市民一人ひとりに届くPRや寄附者への実績報告等により、寄附文化の醸成と寄附者の拡大に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	寄附者への実績報告を行い、寄附の継続を推進するとともに、募金箱設置増などの新たな寄附（募金）の啓発等、可能性を検討する					△
2年目	寄附者以外に対し寄附金の使われ方を周知する方法を検討する					△
3年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(3) 物品寄附の有効活用に向けたしくみづくり

受領した物品を市内の社会福祉法人等で有効活用してもらえネットワークの構築やしくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	物品寄附による必要な施設（団体）への情報提供方法を検討する					△
2年目	物品寄附の有効活用に向け、新たな情報提供方法を検討する					△
3年目	物品寄附受付対応強化と受付・活用のルール化、さらに活用先が広げるツール作り（ホームページの活用等）を行う					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(4) 新たな財源獲得に向けた収益事業の検討

自主財源の更なる獲得に向け、新たな収益事業の実施に向けて取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	新規取り組みを含め、収益事業の方策を再検討する					△
2年目	収益事業の自動販売機設置経営事業を評価し、今後の方策を検討する					△
3年目	新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の影響に鑑み、アンケート実施時期を検討する					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(5) 共同募金の効果的・機能的な配分

共同募金配分委員会での活発な議論を通じ、共同募金財源の地域活動への効果的・機能的な配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	共同募金配分委員会を通じた適正な配分方法を検討する					△
2年目	教育福祉会館耐震工事後の団体支援の方針を踏まえた助成金の見直しを検討する					△
3年目	援護金や団体助成金等の仕組みについて組織全体で検討、見直しを図る					◎
4年目						
5年目						
最終年度						

(6) 適正な予算編成と配分

財政に係る基本方針に基づき、各事業の経費に対して最も適した収入財源を充当する等、収入と支出の関係性を踏まえ、市民や市から理解を得られる適正な予算編成と配分に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	自主財源の充当先を再検討し、特に新たな事業に対する財源確保を検討する					○
2年目	特に基金を財源とした事業展開とその他財源(会費・寄附・共募等)における事業の整理を担当課とともに検討していく					△
3年目	中長期的な視点に基づき、特に共同募金配分金(一般・歳末)や目的型基金を財源とした使途の整理と予算編成の見直しを行っていく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

(7) コスト意識の徹底と財源の有効活用

限られた財源を有効に活用し、法人運営や各事業を効果的、安定的に実施するために、職員にコスト意識を徹底させ、無駄のない財源活用に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	コスト削減、財源の有効化を図るためのリスト化等の整備を検討する					△
2年目	各部署におけるコスト削減の目標設定を促す。OA機器に関する知識や技術の向上によるコスト削減につながる研修会等を企画調整室と検討する					○
3年目	コピーや印刷に係るコストを算出し、前年度との比較を行ったうえで全職員へ周知伝達を行う。また、各担当で取り組むことができるコスト削減への取り組みを検討する					△
4年目						
5年目						
最終年度						

(8) 遺贈による寄附のしくみづくり

遺言等による遺贈への気持ちに応えるべく、遺贈による寄附受付のしくみづくりや新たな民間財源として有効活用できる方法の確立に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	遺贈の受付についてマニュアル化し、使途を検討する					△
2年目	遺贈寄附について権利擁護センターと連携して情報を収集し、遺贈寄附のあり方について検討する					○
3年目	遺贈による寄附の仕組みづくりに向けて、規程や要綱等の情報収集を行い、窓口設置に向けて準備を進めていく					○
4年目						
5年目						
最終年度						

社会福祉法人柏市社会福祉協議会
令和3年度事業報告書

柏市柏五丁目1番8号
電話 04-7163-9000
